

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	17038	事務事業名	社会教育振興一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	「第3期周南市生涯学習推進プラン」に沿って市全体で生涯学習を推進する体制を整備します			25年度市民評価の満足度	【生涯学習の推進】 41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民 生涯学習環境	意図(どういう状態にしたい): 市民の自主的、継続的な学習活動を支援し、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組む等、社会教育行政全般にかかる円滑な事業実施を図る。	事業の内容 (手段)	社会教育全般にかかる会議資料等の作成や情報収集業務、教育委員会後援事務等を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	社会教育全般にかかる会議資料等の作成、情報収集業務、庁内連絡用の事務 第3期生涯学習推進プラン策定								直接事業費	千円	1,067	1,405	1,139	1,126
事業目標	目標名	社会教育主事受講者	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	(予算額) うち一財	千円	1,037	1,405	1,139	1,126	1,126
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	919	887		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		(決算額) うち一財	千円	919	887			
	実績値	1.0	1.0	1.0				正職員人件費	千円	73	3,032			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				人工数	人	0.01	0.41	0.41		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①	社会教育主事講習 (経常的事務事業)	職員	社会教育主事講習を受講する。	社会教育主事講習を受講し、社会教育主事資格を取得する。	職員1名、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターの社会教育主事講習を受講	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 計画的に社会教育主事講習の受講を進めていく。						細事業評価							
	B	改善案	継続して社会教育主事講習の受講を進めていく。											
②	社会教育一般事務 (経常的事務事業)	市民	社会教育振興のため事務の円滑化を図る。	適切な予算管理を行う。	教育委員会後援業務、会議資料作成など。	0.01		551						
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 内部の事務的経費のため、適切な予算管理を行っていく。						細事業評価								
B	改善案	消耗品等の経費の見直しをする。												

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	生涯学習推進プラン策定 (経常的事務事業)					市民	平成27年度から5年間の、本市の生涯学習施策の方向性を定める。	生涯学習推進プランの完成。	社会教育委員会において、素案の内容について協議。	正職員	臨時等
	③	生涯学習推進プラン策定 (経常的事務事業)	市民	平成27年度から5年間の、本市の生涯学習施策の方向性を定める。	生涯学習推進プランの完成。	社会教育委員会において、素案の内容について協議。	0.39		0			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 庁内印刷の活用により、コストの削減を図る。				B	改善案	27年度にパブリックコメントおよび、生涯学習推進本部で素案について協議を行い、早期にプランを策定する。また、プランの冊子印刷については庁内印刷を活用する。				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	経費の削減を図りながら継続されたい。	指摘事項に対する改善状況	消耗品費・印刷製本費を削減した。
	専門知識を持った県からの派遣社会教育主事が削減されている中、市で独自に社会教育主事を育成していくことが求められている。				
	細事業の課題・問題点	計画的に社会教育主事講習の受講を進めていく。	事業全体の課題・問題点	派遣社会教育主事(県職)の派遣者数が減少する中、今後は本市が専門知識を持った社会教育主事を増員し、地域人材を育成する必要がある。また、学習した成果をまちづくりにいかす仕組みづくりを構築するために、今後、庁内で連携をとりながら推進していく必要がある。	

所管課評価					
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	社会教育主事講習に係る経費の削減は困難であるが、内部の事務的経費は引き続きコスト削減を目指す。	改善策 経費の削減を図りながら、円滑に事業を進める。今後も、継続的に社会教育主事講習に派遣し、人材育成を図っていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 事務費の削減には引き続き取り組んでいくべきであるが、社会教育主事講習への受講は、職員の資質向上の点からも継続的に取り組んでいくことが重要である。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き、事務費削減に取り組む。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	135005	事務事業名	社会教育委員会費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 生涯学習の推進体制の整備・充実			【 生涯学習の推進 】	32.30%
	推進施策の展開	「第2期周南市生涯学習推進プラン」に沿って、市全体で生涯学習を推進する体制を整備します。			25年度市民評価の満足度	
					【 3 生涯学習の推進 】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 全市民 社会教育委員	意図(どういう状態にしたい): 社会教育委員の資質向上を図り、社会教育委員の意見を本市の社会教育行政に反映し、社会教育事業の推進を目指す。(H25目標:社会教育に係る意見書の提出)	事業の内容 (手段)	社会教育法第15条に基づき、社会教育委員による会議や研修、調査研究等を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	5月、10月、3月に社会教育委員会会議を開催し、「第3期生涯学習推進プラン」の素案について協議をいただいた。また、平成27年度より供用を開始する「周南市学び・交流プラザ」における生涯学習センター機能のあり方についても協議し、意見を述べている。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	303	302	356	302		302						
事業目標	目標名	全体会議回数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	303	302	356	302	302
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	214	201				
	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	(決算額)	うち一財	千円	214	201			
	実績値	4.0	3.0	3.0			正職員人件費	千円	2,344	2,884				
	達成度(%)	100.0%	75.0%	75.0%			人工数	人	0.32	0.39	0.38			
							支出コスト	千円	決) 2,558	決見) 3,085				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	社会教育委員会費 (ソフト事業)	社会教育委員会費	社会教育委員会会議	社会教育委員会会議を年間4回開催する	第3期生涯学習推進プランの素案の作成	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.39	0	201	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 年4回開催予定の所、3回の開催にとどまった。					B	改善案	8月の委員改選にあわせて、社会教育委員の役割を委員に再度周知し、活発な議論が行われるよう働きかける。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題					改善案							
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題					改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	社会教育委員の人数削減。平成15年度20人→現在12人。	前年度までの指摘事項	法に基づくものであるが、必置ではない。費用対効果を検証し、公民館運営審議会との集約も含め見直しを検討されたい。	指摘事項に対する改善状況	次期生涯学習推進プランの策定においても社会教育委員は重要な役割を担っている。公民館運営審議会との集約も視野に入れながら、委員の資質向上に努めている。
	細事業の課題・問題点	毎回活発な協議が行われるが、社会教育の柔軟性という特質から、社会教育委員それぞれ考え方が違う。全員が共通認識を持てるような工夫が必要である。	事業全体の課題・問題点	社会教育行政に住民の意向や地域の実態が反映されるように、行政外の立場から意見を取り入れるための仕組みが社会教育委員の制度である。現在文部科学省では、学校・家庭・地域の連携促進に力を入れており、今後ますます社会教育委員の役割が重要になってくる。社会教育委員会議の活性化に力を入れたい。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	平成27年度に第3期生涯学習推進プランの策定を予定しており、社会教育委員会議での協議は非常に重要なものとなる。	改善案	社会教育の活性化は人づくり、地域づくりにつながることを認識し、会議の充実を図りたい。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 公民館運営審議会との集約も視野に入れながら計画的に事業を進め、委員の資質向上を図る必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度策定の第3期生涯学習推進プランを推進し、公民館運営審議会の集約も視野に入れ、事業を進める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	135008	事務事業名	派遣社会教育指導主事負担金	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実			【実施なし】	%
	推進施策の展開	「第2期周南市生涯学習推進プランに」に沿って市全体で生涯学習を推進する体制を整備します。			25年度市民評価の満足度	
		【実施なし】	%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民 社会教育関係者	意図(どういう状態にしたい): 社会教育関係者に対する指導・助言や社会教育事業の企画・立案を行うことにより、本市の社会教育行政推進を推進する。	事業の内容 (手段)	山口県教育委員会から、社会教育主事を招聘し、本市の社会教育の充実に資する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
									直接事業費	千円
		(予算額) うち一財	千円	4,772	1,869	8,739	0	0		
事業目標	目標名	協育ネット立ち上げ	計算式	立ち上げ学校数	単位	校	対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
	目標値	3.0	4.0	4.0	5.0	7.0				
	実績値	3.0	3.0	5.0						
	達成度(%)	100.0%	75.0%	125.0%						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否	
	①	派遣社会教育主事給与費分担金事務 (経常的事務事業)	市民	社会教育に関する専門的な知識で、社会教育を行うものに指導・助言を行い、その資質向上を図る。	放課後子供教室立ち上げ、ボランティア活動や家庭教育の推進、学校運営協議会へ出席等、周南市の社会教育を推進する。	放課後子供教室立ち上げ、ボランティア活動や家庭教育の推進、学校運営協議会へ出席等、周南市の社会教育を推進した。	正職員 0.01 臨時等 0	直接事業費 2,009	委託 否 臨時嘱託 否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 平成25年度から派遣社会教育主事が1名に削減されている。					細事業評価	B 改善案 県は、人員削減していく方針なので、継続して働きかけをしていく。		
	②									
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価	改善案			

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成23年度までは、新南陽・熊毛・鹿野各総合出張所に各1名、本庁人権教育課に1名、周南市内で4名の派遣社会教育主事を配置していた。県の方針で平成24年度は、3名(生涯学習課2名、人権教育課1名)平成25年度からは、2名(生涯学習課1名、人権教育課1名)の配置となっている。	前年度までの指摘事項	県は、派遣社会教育主事を減らす方向であり、必要数の確保について県へ要望されたい。	指摘事項に対する改善状況	山口県社会教育主事派遣要綱に基づき、毎年社会教育主事派遣計画書を提出し、要望している。
	細事業の課題・問題点	同左	事業全体の課題・問題点	平成25年度から県からの派遣が1名に削減されているが、派遣社会教育主事は、市内各地域の社会教育のコーディネーターとして欠かせない存在となっているため、派遣要望は今後も継続していきたいと考える。 平成27年度は、派遣社会教育主事要綱による派遣の打ち切りにより自治法派遣を要請した。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	社会教育に関して専門的な知識を有し、教員でもある派遣社会教育主事の活用は、本市の社会教育振興にとって非常に重要であり、今後も継続していくことが重要である。	改善策	社会教育推進において社会教育主事の存在は欠かせないものである。引き続き、県教委へ派遣要望を行うとともに、市としても職員の社会教育主事講習の受講を継続して進めていく。
----	---	---	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	派遣社会教育主事は地域と行政と学校をつなぐ重要な役割を担っており、派遣社会教育主事の活用について、引き続き県に要請を行う。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
自治法派遣打ち切り。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部生涯学習課	評価者(課長)	山本 英樹	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	32024	事務事業名	学校・家庭・地域の連携協力推進事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 21 青少年の健全育成	基本方向	家庭、地域、学校、行政が連携して子供を見守り育てる活動を進め、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動する子供たちを育てることができる環境づくりに努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)健全育成活動推進のための連携強化			【青少年の健全育成】	32.40%
	推進施策の展開	学校、地域、学校が連携した家庭教育等の子どもに関する学習機会の充実を推進します。子供たちが安心して遊び、学ぶことのできる放課後の居場所づくりを進めます。			25年度市民評価の満足度	【青少年の健全育成】 44.20%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 小・中学生、実施校区内の地域住民等	意図(どういう状態にしたい): 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整えることができる。	事業の内容(手段)	学校支援地域本部、家庭教育支援、放課後子供教室の取組を通して、学校、家庭、地域が連携して子供を育てる環境づくりを推進する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		放課後子供教室を市内30教室で開催(年間延べ日数及び参加児童数は集計中)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
【26年度】									直接事業費	千円	14,166	14,155	12,542	11,972	12,542	
									(予算額) うち一財	千円	4,611	4,719	4,181	3,991	4,181	
									直接事業費	千円	12,447	11,725		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
事業目標	目標名	放課後子供教室参加児童数	計算式	達成項目/目標項目			単位	人	(決算額) うち一財	千円	4,018	3,909				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		正職員人件費	千円	10,475	8,504					
	目標値	16,000.0	18,000.0	21,000.0	31,400.0	31,800.0		人工数	人	1.43	1.15					
	実績値	26,244.0	29,446.0	28,000.0				支出コスト	千円	決) 22,922	決見) 20,229					
	達成度(%)	164.0%	163.6%	133.3%												
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	学校支援地域本部事業 (ソフト事業)	小・中学生及び実施校区内の住民		学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整えること。		学校支援ボランティアの拡充、及び学校支援活動の充実		学校支援ボランティアの拡充のため、学校区内での広報を実施し、ボランティアの交流会の開催等、地域に根付いた活動になっている。			0.35	0	339	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 学校支援の拡充・発展と支援者の増加を図る。						B	改善案	各校における学校支援の取組情報を共有していく。パンフレットにより地域の方へ啓発をする。						
	②	放課後子供教室推進事業 (ソフト事業)	主に小学生が対象で、教室によっては中学生や幼稚園児も含む。関わる地域住民も対象と言える。		地域で子供を育む機運を高めるとともに、地域コミュニティの充実を図りたい。		全小学校区への設置と、各教室の充実		新規教室の立ち上げ及び各教室に対して助言、指導を行った。未設置校区が残り2校となった。平成25年度から安全管理員謝金の削減を行っている。			0.5	0	10,652	可	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業費が増大している。自立した管理運営体制の確立が必要である。その他課題として、各教室において ・活動プログラムの充実 ・活動における安全確保 ・問題を抱える子供への対応 ・事業協力者を増やすこと						B	改善案	受益者負担の観点から、適正な保護者の負担を検討する。また、地域コーディネーターを育成、自立した管理運営体制を確立する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	家庭教育支援事業 (ソフト事業)	子育て中の保護者・支援者	子育てに悩みを抱えている保護者に学ぶ機会を提供する。	ニーズに応じる講座を提供する。	各地区支援チームによる地域講座開催し、保護者のニーズに応えられる講座開催を行った。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
							0.3	0	734	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ニーズに応じた講座を計画し、広く周知を図ることが必要である。				細事業評価	B	改善案	チラシ作成をして、ホームページや情報誌などで講座開催情報を発信し、広く周知を図り、保護者の声を取り入れていく。				
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価		改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	他事業との連携を図り、事業統合について検討された。	指摘事項に対する改善状況	学校支援地域本部事業、放課後子供教室推進事業、家庭教育推進事業、子どもサポートプラン推進事業の4事業と統合した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業とコミュニティ・スクールが一体化した『やまぐち型地域連携教育』を、どのように周知し、具体的な取組に発展させることが大切。 ・放課後子供教室においては、各教室におけるプログラムの充実、安全確保等が課題となっている。 				
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点		それぞれの事業を充実させるための核となるのは人である。地域住民の中から、様々な立場で活躍する人材の確保をしなければならない。しかし、実際には、一人の人がたくさんの肩書を持ち、限られた人の活動になりがちである。高齢化も進んでおり、世代交代も含めて、新たな人材の確保が必要である。また、人材確保と同様に人材育成も大切であると考え。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	教育活動サポーター、統括コーディネーター、家庭教育支援チーム員の数は増加しているが、更なる増加が望まれる。また、質の向上については今後の課題である。	改善案	様々な人のつながりから、活動する人の数を増やしていく。また、情報交換会、研修会等を充実させることで、質の向上を図っていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 本事業は、地域の人材が生涯学習で学んだ成果を、地域課題の解決のために生かすこれからの生涯学習の方向性を示すもので、公民館を拠点に展開されている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100301
分野	1教育・子育て
基本施策	3子供の健全育成
推進施策	(1)健全育成活動推進のための連携の強化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
各細事業における謝金について精査し、予算を削減した。今後、さらに充実した事業となるよう、地域人材の発掘、育成を実施して行きたい。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	13005	事務事業名	社会教育団体助成事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)学んだ成果をまちづくりに生かすための環境の充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するための環境の充実に努めます。			25年度市民評価の満足度	【生涯学習の推進】 41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 社会教育団体	意図(どういう状態にしたい): 活動を通して、国際的な理解を深めること、「小さな親切」の啓発、花いっぱい事業の推進、青少年健全育成の推進、女性の社会的地位の向上を図る等、社会教育団体の自主的、継続的な活動を支援する。	事業の内容 (手段)	補助対象と位置付けられた社会教育関係団体(徳山ユネスコ協会、周南をよくする会、徳山花いっぱい会、周南市PTA連合会、周南市連合婦人会)の活動に対して補助金を交付する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	社会教育関係団体の会員数(13,945人) 社会教育団体に対する補助金交付(総額1,557,000円)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	1,557	1,557	1,557	1,557
事業目標	目標名	会員数	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	1,557	1,557	1,557	1,557
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,557	1,557		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	16,000.0	16,000.0	16,000.0	16,000.0	16,000.0	(決算額) うち一財	千円	1,557	1,557			
	実績値	14,287.0	14,303.0	13,975.0			正職員人件費	千円	733	740			
	達成度(%)	89.3%	89.4%	87.3%			人工数	人	0.10	0.10	0.10		
							支出コスト	千円	決) 2,290	決見) 2,297			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否				
	①	補助金交付事務 (ソフト事業)	交付要綱にあげられた社会教育関係団体	補助金を交付することにより団体の自主的・主体的な活動を促進を図る。	会員の増加等、自主財源の確保に努めてもらう。	25年度に引き続き、減額交付した補助金により活動を実施	正職員 0.1 臨時等	直接事業費 1,557	委託 否	臨時嘱託 否			
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 補助金に依存しないで活動ができるように、自主財源確保のためにも、会員増加をお願いしている。また、会員の高齢化も進んでいる。					B	改善案	各団体が自主事業のPRを行うなして会員増加につとめる。				
	②												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④		細事業評価		改善案					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成18年度より20年度まで、生涯学習課と社会教育委員で構成する補助金審査会を実施し、補助対象団体の運営状況、事業の実施状況をチェックし、補助金交付基準を満たさない団体に対する指導及び、同一目的団体への補助金の一本化を実施した。その結果、平成18年度20団体→平成24年度5団体となっている。	前年度までの指摘事項	補助金の公益性を踏まえ、実績に基づく効果や補助の必要性を再度検証されたい。なお、市において事務局を持っている団体については、本来各団体において行われるべき業務であり、事務の移管を早急に実施されたい。	指摘事項に対する改善状況	補助金の公益性を踏まえ、実績に基づく効果や、補助目的や補助対象事業の確認を行っている
	細事業の課題・問題点	自主財源確保・活動の活性化のためにも、会員増加を図られているが困難な状況であり、会員の高齢化も進んでいる。	事業全体の課題・問題点	団体会員の高齢化が進んでいるため、会員増員や、若い世代からの協力者のサポートが必要と感じられる。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	交付団体の各種事業は社会教育活動であり、市の「まちづくりの目標」を実現するための「自助・共助・公助」に直結しており、支援していく必要があるため。	改善案	補助を継続していく中で、団体に対して、会員数の増加や活動の充実を図られるよう促していく。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	各補助事業の公益性をしっかりと評価した上で、各団体の主体性を尊重しつつ、事業の公益目的がよりよく達成されるよう必要な助言・指導に努められたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200102
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(2)学んだ成果をまちづくりに生かす環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き、市民の自主的、継続的な学習活動を支援するための環境の充実に努める。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	293005	事務事業名	花いっぱい推進事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)学んだ成果をまちづくりに生かすための環境の充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	学んだ成果を地域のまちづくり活動に生かすことができるような場を積極的に提供していきます。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 育苗グループ、花壇関係者 地域・学校花壇	意図(どういう状態にしたい): 育苗グループや花壇関係者の生きがいづくりや、地域花壇等によるまちの潤いづくりと共に、学んだ成果をまちづくりに生かす実践に繋げる。	事業の内容 (手段)	市内11の育苗グループに花の種子を配布し、育苗された苗を各公民館を通じて地域・学校花壇に配布する。 各地域・職場や学校で展開されている花いっぱい運動の成果と更なる推進のため、優秀な花壇を表彰する。 公民館を通じて、花いっぱい運動のため、花づくり講習会を開催する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	花壇コンクール開催(一般の部16団体、学校の部11団体の参加) 花苗配布(サルビア・マリーゴールド・ハボタン・キンセンカ花苗合計131,476本) 花づくり講習会の開催(市内公民館にて9回開催)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
							直接事業費	千円	3,265	3,459	3,392	3,392	3,392	
事業目標	目標名	花壇コンクール参加団体数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	3,260	3,459	3,392	3,392	3,392
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,926	3,258		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	(決算額)	うち一財	千円	2,921	3,258			
	実績値	37.0	36.0	27.0			正職員人件費	千円	2,344	2,366				
	達成度(%)	74.0%	72.0%	54.0%			人工数	人	0.32	0.32	0.30			
							支出コスト	千円	決) 5,270	決見) 5,624				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 花壇コンクール開催費 (ソフト事業)		応募者	学校と一般の部で順位をつけ、優秀団体は、「ゆめ風車まつり」で表彰する。	丹精込めて世話をしてきた地域・学校花壇に対して、日頃の成果の発表の場づくりとして、コンクールを開催する。	応募団体への審査を行い、優秀団体には「ゆめ風車まつり」で表彰する予定が、悪天候のため表彰ができなかった。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価									
	細事業の課題		H23年度の国体をピークに応募団体が減少しており、応募団体も固定化している。		B	改善案	公民館を通じて更なる広報活動を行う。							
	② 花種子・花苗配布等事業 (ソフト事業)		地域花壇世話人・育苗グループ	生涯学習として育苗グループに花種を渡して育苗してもらい、地域花壇・学校に花苗を供給する。	育苗グループに育てられた花苗を地域花壇等に配布し、少しでも地域住民の心を豊かにするとともに、明るく住みよい地域づくりに繋げる。	各地域花壇・学校に配布ができた。			0.11	1,120		否	否	
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価										
		育苗グループが出荷可能本数を報告して、各地域に配分する作業にかなりの手間がかかっている(育苗田の生育状況により、出荷時期や出荷可能本数が大きく変動する)。		B	改善案	事務効率が良くなるように事務改善を検討する。								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	県花いっぱい運動事業 (ソフト事業)					推薦団体	県に市内の優良花壇団体の推薦を行う。県の審査員に随行する。	花壇コンクール応募団体を中心に推薦を行う。	県に優良団体等の推薦を行った。	正職員	臨時等
			0.06		611	否					否	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし。					細事業評価						
	細事業の課題					A	改善案					
	④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし。					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成23年度に実施された山口国体ピークに比べて花壇コンクール応募数や地域花壇数は減少している。育苗グループや地域花壇の世話人の高齢化も目立ち、担い手が不足している。	前年度までの指摘事項	花いっぱい緑化推進事業と趣旨・目的が異なるが、事業名称や内容が似通っている。事業内容を明確にした上で、それに合わせた事業名称を定める必要がある。また、横の連携・協議を強化すべきである。	指摘事項に対する改善状況	事業名の変更を行った。また、花壇づくりの相談などが必要であれば、相互で連携を行う。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 花壇コンクールの開催については、応募団体が減少している。 花種子は無料で提供しているが、花苗買上げの単価は、市場よりかなり安価であり、育苗グループにとっては厳しい運営をお願いしている。 公民館主催の花づくり講習会も、毎年開催する公民館は決まっており、新しい地域花壇の世話人の発掘等にはつながっていない。 	事業全体の課題・問題点	「花づくり、花壇づくりを通じて地域の連帯感を醸成し、地域住民の心を豊かにするとともに、明るく住みよい地域づくりを目指します」と地域力向上を目指した公民館運営の推進の具体的な事業として、生涯学習プランに位置付けており、限られた予算の中で事業を展開していかないとけない。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	生涯学習の観点から、本事業は継続して実施する必要がある。	改善案	限られた予算の中で、人件費がなるべくかからないよう内部事務を改善しながら事業を進めていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 学んだ成果をまちづくりに生かすこれからの生涯学習の方向性を示す事業である。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200102
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(2)学んだ成果をまちづくりに生かす環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き、効率的な事業運営に努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132062	事務事業名	大田原自然の家管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組む。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	社会教育関連施設の整備・充実			【 青少年の健全育成 】	32.40%
	推進施策の展開	老朽化した地区公民館などの社会教育施設は、計画的な整備・改修に努める。			25年度市民評価の満足度	
					【 青少年の健全育成 】	44.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 青少年(概ね30歳以下)とその家族	意図(どういう状態にしたい): 経験豊富な職員の指導のもと、活動することで、青少年の健全な育成に寄与することができる。	事業の内容 (手段)	集団宿泊訓練及び野外活動を通じて心身ともに健全な青少年を育成するために、周南市大田原自然の家を設置し、施設の利用に際し、使用者の安全の確保と円滑な利用を推進するとともに、ボランティアを活用し、効率的及び効果的にその管理運営を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	利用者延べ人数 10,175人 利用団体数 265団体 26年度は、大雨、台風等の影響で事業の中止もあつたにもかかわらず、利用者数は10,000人を超えた。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	32,884	34,663	35,177	35,879		36,037						
事業目標	目標名	利用者延べ人数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	32,884	34,007	34,570	35,263	35,432
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	32,840	34,649				
	目標値	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	(決算額)	うち一財	千円	32,235	34,085			
	実績値	10,360.0	10,372.0	10,175.0			正職員人件費	千円	1,099	961				
	達成度(%)	103.6%	103.7%	101.8%			人工数	人	0.15	0.13	0.30			
							支出コスト	千円	決見) 33,939	決見) 35,610				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	大田原自然の家管理運営業務 (施設管理運営事業)	公益財団法人周南市ふるさと振興財団	指定管理業務の年度協定の締結	指定管理業務の年度協定の締結・指定管理料の支払い事務	H26 33,829(千円) H27 34,584(千円) H28 34,944(千円)予定	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.08		33,859	可				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 26年度に新たに3年間の基本協定を締結した。今後の方向性について具体案を示す必要がある。					C	改善案	今後の方向性について具体案を示す。					
	②	大田原自然の家維持管理業務 (施設管理運営事業)	大田原自然の家利用者	大田原自然の家の維持管理を図る	指定管理協定以外の小規模の修繕や緊急性のある物品の購入や土地借上料の支払い	修繕 238,680円、土地賃借料 550,402円(7人18筆)	0.05		789					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 急傾斜地の全面改修や施設の改修については多額の費用が必要である。					C	改善案	大規模な修繕は困難であり、今後の方向性について具体案と併せて検討						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
		④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	S57 大田原自然の家開所(財)徳山青年館 H5 委託先変更(財)徳山市ふるさと振興財団 H17 指定管理者指定(財団法人周南市ふるさと振興財団) H24.3 県立光青年の家事業廃止 H26～3年間、指定管理者と基本協定締結	前年度までの指摘事項	働事内容については評価する点があるが、ハードは極めて老朽化している。安全という点で危惧があり、施設の存廃を真剣に判断する時期に来ている。	指摘事項に対する改善状況	改善必要箇所を調査し、小規模な修繕は行っているが、財政面から、大規模修繕の実施はしていない。指定管理期間中に今後の方向性の具体案を示す。
	細事業の課題・問題点	26年度、新たに3年間の基本協定を締結した。今後の方向性について具体案を示す必要がある。		事業全体の課題・問題点	大田原自然の家は築後60年が経過し施設の老朽化や設置箇所が土砂災害警戒地域に位置しており、安全面の不安について指摘がある。しかしながら青少年教育の場や地域のリーダーの育成の場として欠くことができない施設である。また、延べ10,000人を超える利用があり、年間1500人のボランティアが運営に関わっているなど、大田原地域の中核的な施設である。	

所管課評価						
評価	C	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	施設の老朽化に伴う施設の改修や急傾斜地の全面改修については多額の費用が必要である。	改善案	類似施設の活用、運営自体の見直しの他、地域づくりの視点も入れて具体案を検討していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C 大田原の地の利を活かした活動プログラムは評価でき、青少年教育、リーダー育成の面においてスタッフの人材も貴重である。しかしながら、施設の老朽化や立地条件等解決が難しい課題を抱えてきており、今後の方向性について、関係団体や地元関係者と協議をするための具体案づくりに取り組まれたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100301
分野	1教育・子育て
基本施策	3子供の健全育成
推進施策	(1)健全育成活動推進のための連携の強化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成29年度以降の施設の方向性の具体案を示すに当たって、大田原自然の家運営協議会を活用する。平成28年度においては、協議会を3回開催する予定としている。 併せて、社会教育委員会議の場でも協議し、多方面から意見を聴く予定。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	033017	事務事業名	青少年団体等活動助成事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 21 青少年の健全育成	基本方向	家庭、地域、学校、行政が連携して子どもを見守り育てる活動を進め、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動する子どもたちを育むことができる環境づくりに努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	健全育成活動推進のための連携強化			【 青少年の健全育成 】	32.40%
	推進施策の展開	青少年の健全育成を担う市民や青少年リーダーの育成に努めます。			25年度市民評価の満足度	【 青少年の健全育成 】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 青少年教育団体	意図(どういう状態にしたい): 青少年の健全育成や青少年リーダーの育成を行っている団体に活動助成を行うことにより、団体の拡充と育成を図る。	事業の内容 (手段)	補助金を交付し青少年団体活動が停滞することがなく継続的な活動ができるよう助言・指導を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		青少年教育団体の事業費に対する助成事業(総事業費2,010,000円)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
【26年度】									直接事業費	千円	2,403	2,252	2,252	2,252	2,252	
									(予算額) うち一財	千円	2,403	2,252	2,252	2,252	2,252	
事業目標	目標名	会員数・参加数	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	直接事業費	千円	2,401	2,010		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	2,401	2,010					
	目標値	8,500.0	8,500.0	8,500.0	8,500.0	8,500.0		正職員人件費	千円	806	887					
	実績値	7,696.0	7,555.0	7,334.0				人工数	人	0.11	0.12	0.11				
	達成度(%)	90.5%	88.9%	86.3%				支出コスト	千円	決見) 3,207	決見) 2,897					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	青少年団体活動助成業務 (ソフト事業)	青少年団体		青少年団体への補助金の交付		青少年団体の拡充		【交付額】周南市青年団164千円、徳山地区ボーイスカウト育成会53千円、孝女阿米顕彰会29千円、市子連(わんぱく船)240千円、徳山地区ガールスカウト団39千円、市子連1147千円、ロボコン交付金336千円			0.12	2,010	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 少子化の影響や子どもを対象にした活動団体の増加により、活動が停滞している等の課題がみられる。						改善案		細事業評価						
	②															
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案		細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・H22 周南ロボコン交付金(企画課より事務移管) 徳山海洋少年団への助成廃止(48千円) ・H23 鹿野青年団への助成廃止(76千円) ・事業開始時の補助金の算定基礎は不明であるが、過去に定率減額、消費税率の改定に伴う増額等の変動歴がある。H24年度各団体一律4%削減。 H26 わんぱく船中止(台風) 	前年度までの指摘事項	補助を行う根拠となる公益性を常に考慮し、団体の活動状況を毎回確認し適正に執行をされたい。なお活動指標および成果指標の目標値は適切なものにされたい。	指摘事項に対する改善状況	定期的な活動状況の確認を実施し、各団体については補助金等を助成する意義についての意識付けを促していくとともに、引き続き団体育成の側面支援を行う。
	細事業の課題・問題点	少子化の影響や子どもを対象にした活動団体の増加により、活動が停滞している等の課題がみられる。		事業全体の課題・問題点		補助金額の算定については、当初の補助額を基本にししながら徐々に減額している状況である。各団体に対して、将来的には自主財源で活動が実施できるように意識付けを行っている。また団体育成の継続的な支援が必要である。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	補助金を交付する意義を各団体に周知しつつ、青少年団体活動が停滞することがなく継続的な活動ができるよう助言・指導を継続する。	改善案	補助を継続していく中で、団体に対して、会員数の増加や活動の充実が図られるよう促していく等、団体育成の支援を継続する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C
	各補助事業の公益性をしっかりと計画した上で、各団体の主体性を尊重しつつ、事業の公益目的があり、よく達成されるよう必要な助言・指導に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100303
分野	1教育・子育て
基本施策	3子供の健全育成
推進施策	(3)青少年の社会参加の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
各団体における事業内容等を精査する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	035005	事務事業名	成人式開催事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 21 青少年の健全育成	基本方向	家庭、地域、学校、行政が連携して子どもを見守り育てる活動を進め、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動する子どもたちを育むことができる環境づくりに努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)健全育成活動推進のための連携強化			【 青少年の健全育成 】	32.40%
	推進施策の展開	青少年の健全育成を担う市民や青少年リーダーの育成に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【 青少年の健全育成 】	44.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 今年度二十歳を迎える新成人 実行委員会に参加する青少年		意図(どういう状態にしたい): 成人式の企画運営を青少年主体の実行委員会で実施し、主体的に行動する青少年リーダーの発掘育成を進める。		事業の内容 (手段)	●新成人の新しい門出を祝福・激励するとともに、法的にも大人として認められた権利及び責任等に対する自覚を促す。 ●青少年により組織された実行委員会を立ち上げ企画・運営を自主的に実施することにより、次代のリーダー育成に寄与する。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	開催日 平成27年1月11日 場所 周南市文化会館 出席者 1,102人 実行委員・ボランティア数 68人		直接事業費		千円									1,777
事業目標	目標名	出席率	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,777	1,883	1,680	1,771	1,680
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,732	1,218		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	(決算額)	うち一財	千円	1,732	1,218			
	実績値	71.2	69.8	74.1			正職員人件費	千円	3,296	3,328				
	達成度(%)	101.7%	99.7%	105.9%			人工数	人	0.45	0.45				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト	委託等の可否				
	①	成人式実行委員会開催業務 (ソフト事業)	市内の青少年	企画運営を青少年主体の実行委員会が実施することにより青少年リーダーの発掘育成	実行委員会の立ち上げ、企画・運営の検討、実施、反省までを行う。	実行委員会25人、開催回数16回 成人式企画:20年のあゆみ、恩師からのメッセージ、新成人歓迎看板と横断幕の設置、周南市ゆかりの方	正職員	臨時等	67	委託	臨時嘱託			
	細事業の課題		□ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		より多くの青少年に関わっていただき、青少年リーダーの発掘育成に寄与したい。		B	改善案	市広報の他に様々な媒体で実行委員の募集をする。					
	②	記念品贈呈業務 (ソフト事業)	新成人	新成人のお祝いとして記念品の購入、贈呈	新成人への記念品の贈呈	記念品受領者1136人	0.05		1,061	否	否			
細事業の課題		□ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		記念品は、式典出席者や後日受取りに来た新成人にのみ配布しており、全ての新成人への配布には至っていない。		B	改善案	新成人全員への配布は困難なため、広報等で周知することにより、受け取りに来てくれる方を増やす。						

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③ 成人式開催業務 (ソフト事業)	新成人	成人式の開催	成人式のスムーズな運営を目指し、準備、検討を行う。	成人式出席者1,102人	0.1		604	否	否
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 開催日時の見直しについての意見も聞かれることから、検討の余地がある。			細事業評価					
	④									
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	二十歳を迎える新成人に対し、大人として認められた権利及び責任等に対する自覚を促すことを目的とし、各地域で毎年実施されているが、近年、多方面で成人式のあり方が問われてきている。 本市では実行委員会を設置し、青年層の意見を式典に反映させ実施している。		若者自らが成人式の企画・運営に参加することで、青少年の健全育成を担う市民や青少年リーダーの育成に寄与している。しかし、多方面で成人式のあり方が問われており、充実した事業になるよう、検討を重ね、継続実施したい。
	より多くの青少年に関わっていただき、青少年リーダーの発掘育成に寄与したい。		本市の成人式は、多くのボランティアの手によって開催されている。また、周南市独自の成人式を若者たちの手によって運営実施することによって新成人たちの郷土愛を育み、若者流出の抑止につながるような意識付けを行いたい。また、成人式に関わった人同士の繋がりを、別の形で生かせるような仕組みづくりを検討する。

所管課評価			
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由 若者自らが成人式の企画・運営に参加することで、青少年の健全育成を担う市民や青少年リーダーの育成に寄与している。しかし、多方面で成人式のあり方が問われており、充実した事業になるよう検討を重ね、継続実施したい。 改善案 青少年リーダーの発掘・育成につながるよう検討し実施する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 成人式のあり様には、社会総がかりの学校教育の成果が現れている。また、周囲の祝福と新成人の決意と感謝の気持ちが交差する成人式を企画運営する青少年には、挑戦するものだけが得られる学びの場となっている。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100303
分野	1教育・子育て
基本施策	3子供の健全育成
推進施策	(3)青少年の社会参加の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
実行委員の世代交代が進んでおり、以前から実施していた展示物の外部発注を実施した。 今後、さらに充実した成人式になるよう、実行委員会の拡充を図りたい。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	33011	事務事業名	少年の主張大会事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 21 青少年の健全育成	基本方向	家庭、地域、学校、行政が連携して子どもを見守り育てる活動を進め、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動する子どもたちを育むことができる環境づくりに努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	健全育成活動推進のための連携強化			【 青少年の健全育成 】	32.40%
	推進施策の展開	周南市青少年育成市民会議の活動を支援し、地域で子どもを見守り育てる活動を促進します。青少年の健全な成長に資するため、情報の収集、提供及び発信に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【 青少年の健全育成 】	44.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内の小中学生	意図(どういう状態にしたい): 青少年に対する理解を深め、家庭・学校・地域が一体となって青少年の健全育成の推進に資する。	事業の内容 (手段)	中学生が学校生活や日常生活を通じて日頃考えていること、同世代や大人に訴えたいこと等について意見を発表する。 小、中学生を対象に「青少年健全育成及び青少年非行防止」をテーマとした文字デザイン、標語、四コマコミックを募集し表彰する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年7月12日 山口県周南総合庁舎 さくらホール 参加者 300人(受賞者、関係者含む。) 応募総数 少年の主張の部747作品、標語の部319作品、文字デザインの部80作品、四コマコミックの部190作品						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	140	140	160	160		160						
事業目標	目標名	作品提出数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	140	140	160	160	160
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	121	120				
	目標値	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	(決算額)	うち一財	千円	121	120			
	実績値	2,084.0	2,560.0	1,336.0			正職員人件費	千円	2,271	2,292				
	達成度(%)	69.5%	85.3%	44.5%			人工数	人	0.31	0.31	0.36			
							支出コスト	千円	決見) 2,392	決見) 2,412				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	少年の主張大会開催業務 (ソフト事業)	市内小中学生及び少年の主張コンクール大会来場者	少年の主張大会の開催	他団体との調整、会場準備、円滑な運営等	アトラクション:BMX、フットボールパフォーマンス	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.2		86	否	否			
	細事業の課題	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 当日の来客数を増やし、青少年の健全育成の推進をすすめる。					B	改善案	各校へ参加を呼び掛け、アトラクションを工夫する。					
	②	少年の主張作品審査及び表彰業務 (ソフト事業)	市内小中学生	大会当日に優秀な作品に対し表彰及び記念品の授与式の実施	作品の募集、優秀作品の審査決定、表彰状・記念品の授与	各部門 最優秀賞1点、優秀賞4点	0.11		34	否	否			
細事業の課題	□ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 募集する期間が新年度開始間もない時期であり、応募作品数が減少傾向にある。					B	改善案	募集開始時期や各学校への周知方法を検討する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題						改善案					
	④											
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点			

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	青少年の健全育成の面から、本事業は継続して実施する必要がある。 改善案 他団体との連携を強化し、大会内容についても検討し効果的な事業とする。事業のPRを検討する上で、本市生涯学習の拠点である「学び・交流プラザ」で実施し、幅広い市民の来場を目指す。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 何よりも大切なことは、社会総がかりで青少年の健全育成に取り組むこと。そのために、学校でも、地域でも、家庭でも少年の主張が話題となるように、関係者や関係団体への働きかけが重要と考える。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100303
分野	1教育・子育て
基本施策	3子供の健全育成
推進施策	(3)青少年の社会参加の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
会場をさくらホールから学び・交流プラザへ移したことで会場使用料を削減したが、新たに吊看板を外部発注することとしたため、予算総額は変わらない。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	33015	事務事業名	周南市体験活動ボランティア活動支援センター運営事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 21 青少年の健全育成	基本方向	家庭、地域、学校、行政が連携して子どもを見守り育てる活動を進め、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動する子どもたちを育むことができる環境づくりに努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	青少年の社会参加の促進			【 青少年の健全育成 】	32.40%
	推進施策の展開	学校や地域団体と協力して、子どものボランティア活動や地域活動への参加を促進します。			25年度市民評価の満足度	【 青少年の健全育成 】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内の中学生	意図(どういう状態にしたい): ボランティア活動を通じ身近な社会へ積極的に関わる態度を培うことで生涯学習社会の推進に寄与する。 (ボランティア活動参加者数 H26目標:1,500人)	事業の内容 (手段)	体験活動・ボランティア活動支援センター設置し、ボランティア活動に興味のある市内の青少年(中学生)に、ボランティア情報を提供する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成26年度実績 活動事業数(中学校) 134事業 参加者のべ人数 7,264人 周南市ボランティア活動ニュース発行数 10,000部						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	97	97	0	0		0						
事業目標	目標名	市イベント等への中学生・高校生ボランティア参加数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	97	97	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)	うち一財	千円	90	96			
	目標値	1,500.0	1,500.0	1,500.0	9,400.0	10,300.0	正職員人件費	千円	1,099	2,219				
	実績値	6,645.0	8,581.0	7,264.0			人工数	人	0.15	0.30				
	達成度(%)	443.0%	572.1%	484.3%			支出コスト	千円	決見) 1,189	決見) 2,315				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	ボランティア活動支援業務 (ソフト事業)	市内の中学校	学校におけるボランティア活動の取り組みに係る助言指導	ボランティア活動が定着されるよう助言・指導する	熊毛中学校、福川中学校においてボランティア活動が継続的に進めるようコーディネートした。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.2		0	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 コミュニティ・スクールの活動として位置づけ、学校・家庭・地域が連携した取り組みとして、事業を進めていく必要がある。					A	改善案	引き続き、コミュニティ・スクールでの取り組みになるよう支援する。					
②	ボランティアニュース発行業務 (ソフト事業)	市内の中学校、高校	ボランティア活動の啓発	ボランティアニュースの発行	市内の中学校、高校に配布 各種会合にてPRの実施、10,000部配布	0.1		96	可	否				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 紙面についてはボランティアの紹介だけに留まらず、優良事例を掲載し他の学校が取り組む足掛かりとしても活用したい。また、「ボランティアとは何か」についての説明も付記したい。					B	改善案	紙面をリニューアルし、より効果的な、関心を持てるような工夫をしながらPR活動を実施する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	H24年度以降、事業の中心として各学校のコーディネートを担当していた各出張所の派遣社会教育主事(県職)が削減され、事務の継続的な実施が出来るように、事務の簡素化・定型化を図っている。			引き続きボランティア活動ニュースを発行し、中学生・高校生や受入れ可能な関係団体に配布し、周知を図る。また、コミュニティスクールを活用し、全市的な取り組みになるよう検討する。
	ボランティアニュースの紙面についてはボランティアの紹介だけに留まらず、優良事例等を掲載し他の学校が取り組む足掛かりとしても活用したい。また「ボランティアとは何か」等原点の説明も必要。			ボランティア活動については、特色ある取り組みをしている学校があるが、自主的な活動(清掃作業等)に留まっていることも見受けられる。また、地域差もあることから、状況によって取り組み方法を検討しつつ事業の拡張を図っていく。 更に学校が主体的にボランティア活動のコーディネートを行い、中・高生のボランティア活動が促進されるよう支援していきたい。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	引き続きボランティア活動ニュースを発行し、中学生・高校生や受入れ可能な関係団体に配布し、周知を図る。	改善案	より魅力的なニュース紙とするため、効果的なPR活動を実施する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	目標値と実績値の剥離から判断すると、ボランティア情報・提供に課題があるのではないかと。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100303
分野	1教育・子育て
基本施策	3子供の健全育成
推進施策	(3)青少年の社会参加の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	31007	事務事業名	青少年育成協働ネットワーク推進事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 21 青少年の健全育成	基本方向	家庭、地域、学校、行政が連携して子どもを見守り育てる活動を進め、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動する子どもたちを育むことができる環境づくりに努める	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 健全育成のための連携強化			【 青少年の健全育成 】	32.40%
	推進施策の展開	○周南市青少年育成市民会議の活動を支援し、地域で子どもを見守り育てる活動を推進する。 ○青少年の健全育成に関わる組織、人材、活動などの情報を、家庭、地域、学校が共有できる青少年育成協働ネットワークづくりを進める。 ○青少年の健全育成に資するため、情報の収集、提供及び発信に努める。 ○青少年の健全育成を担う市民や青少年リーダーの育成に努める。			25年度市民評価の満足度	
					【 青少年の健全育成 】	44.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 行政が、市民と協働で行う事業の企画調整を行うとともに、青少年育成に取り組む団体が連携することで、青少年健全育成の原動力となる「地域力」「市民力」を高め、市民主体で取り組む青少年健全育成活動の推進を図る。	事業の内容 (手段)	青少年育成団体が構成される「周南市青少年育成市民会議」及び、学校、家庭、地域と連携し以下の事業を実施する。 ①地域のおじさん、おばさん運動の実践 ②青少年健全育成シンポジウムの実施 ③各地域における青少年育成活動の実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・全体活動(地域のおじさんおばさん運動、こどもっちゃ! 商店街出店企画「ぼくのみせ わたしのみせ」、こども新聞掲載) ・徳山部会(子どもの人権教育プログラム事業等)・新南陽部会(こどもゆめクラブ等) ・熊毛部会(こどもゆめまつり等)・鹿野部会(地域クリーンアップ作戦等)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	3,470	2,940	2,939	2,915		2,939						
事業目標	目標名	賛助会費収入額	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	3,470	2,940	2,939	2,915	2,939
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,190	2,940				
	目標値	120,000.0	120,000.0	120,000.0	120,000.0	120,000.0	(決算額)	うち一財	千円	3,190	2,940			
	実績値	115,000.0	126,000.0	93,000.0			正職員人件費	千円	4,395	4,437				
	達成度(%)	95.8%	105.0%	77.5%			人工数	人	0.60	0.60				
							支出コスト	千円	決見) 7,585	決見) 7,377				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	青少年育成協働ネットワーク推進事業 (ソフト事業)	周南市民	地域力、市民力を高め、青少年健全育成活動の推進を図る	青少年育成に取り組む団体の連携を図り、市民主体で取り組む青少年健全育成活動を推進する。	・総会(1回/年) ・理事会、常任委員会(各3回/年)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 自主財源の確保を目的として、今後も賛助会員増加に向けた積極的な取り組みの推進を要する。						細事業評価						
	②	青少年育成市民会議活動支援事業 (ソフト事業)	周南市青少年育成市民部会	青少年育成市民会議の活動を支援し、地域での子どもを見守り育てる活動を支援する	市民主体で取り組む青少年健全育成活動の推進する。	○地域のおじさん、おばさん運動 ○子供の人権教育プログラム事業 ○こどもっちゃ! 商店街出店企画「ぼくのみせ わたしのみせ」	0.05	0	0	可	否			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 青少年育成市民会議は、市と協働で青少年の健全育成に取り組むパートナーとなる団体であるため、自立した組織運営体制の確立に向けた取り組みを更に進める必要がある。						細事業評価							
						B	改善案	賛助会員増加に向けた取り組み、県助成金の活用等により財源の確保を図るとともに、組織体制の見直しについても進めて行く。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③	子どもの安心・安全推進事業 (ソフト事業)	周南市青少年育成市民会議	市全域において、子どもの安全を見守る活動実施が可能となるよう支援する。	地域における児童生徒の安全を確保する。	・地域安全マップフィールドワーク ・あいさつ運動推進	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							0.1	0	690	可	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
						B	改善案	各地域の保護者からは、登下校時の児童の見守り等の活動に対し、一定の評価は受けている。				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	市民会議の活動メンバーが一部固定化されており、新規の支援者の獲得が必要。 イベント事業の見直しと、自立した組織運営に向けての今後の在り方、支援の方法についての検討が必要。 27年度から生涯学習課に事務移管。			自立した組織運営を目指し、必要な指導、助言を行うとともに自主財源確保に向けた取組みを工夫する。
	合併前の各市町で実施していた事業をそのまま踏襲した形となっており、事業部会等の専門部会において、周南市全体で市民会議として独自に取り組んでいく事業の試みが行われ始めているが、市民会議全体の事業等するまでには時間を要する。			各部会を中心に自主財源の確保に向けての取組みを行っているが、全事業費に対する補助金、交付金の割合は、依然高い状況となっている。自主財源の確保に向けた取組みを工夫する。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			青少年育成市民会議は青少年健全育成活動を市と協働で実施するパートナー団体であり、自立した組織運営体制を確立していくための支援を継続する。	自立した組織運営体制確立のため、自主財源の確保や新たな会員獲得のための取組の積極的な推進を図るよう、引き続き働きかけを行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	コメント
		青少年健全育成は、社会総がかりで取り組む課題であり、協働で取り組みを進めていく必要がある。青少年育成市民会議は、行政、市民団体、企業を構成する団体であり、自立した組織運営支援を継続しつつ、パートナーシップの確立に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	100303
分野	1教育・子育て
基本施策	3子供の健全育成
推進施策	(3)青少年の社会参加の促進

【改善】 Action

改善結果(平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など))
交付金の対象となる小学校数の減少に伴う予算減。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	31023	事務事業名	青少年育成センター運営事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 21 青少年の健全育成	基本方向	家庭、地域、学校、行政が連携して子どもを見守り育てる活動を進め、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動する子どもたちを育むことができる環境づくりに努める。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 青少年を取り巻く有害環境への対応			【 青少年の健全育成 】	32.40%
	推進施策の展開	学校、警察及び関係機関との連携強化による、非行の未然防止と環境浄化活動の推進。 パソコン、携帯電話等によるインターネットの適切な利用に関する情報モラル教育の充実。 保護者等に対する啓発活動の充実。			25年度市民評価の満足度	【 青少年の健全育成 】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 地域の校外補導組織等との連携による、定期的な環境浄化活動や補導活動を実施することにより、青少年の非行防止や健全育成を図る。	事業の内容 (手段)	警察の少年相談員、地域の校外補導組織等の関係機関との連携により、以下の事業を実施する。 ①街頭補導活動 ②環境浄化活動(白ポストの設置による有害図書類の回収)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・街頭補導活動 ①合同補導:24回、②特別補導:市内イベントにて4回、 ③緊急補導:H26.12.20~年末、④地区補導:各地区校外補導組織、学校で独自に実施 ・環境浄化活動 ①白ポスト設置、回収:市内10箇所設置、回収実績249(H25:734H24:642)				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	直接事業費	千円	1,044	934		964	912	964							
事業目標	目標名	補導活動日数(合同)	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,044	934	964	912	964	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	615	614	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	(決算額)	うち一財	千円	615	614				
	実績値	13.0	34.0	24.0			正職員人件費	千円	2,491	2,514					
	達成度(%)	28.9%	75.6%	53.3%			人工数	人	0.34	0.34					
							支出コスト	千円	決見) 3,106	決見) 3,128					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否			
	①	青少年育成センター運営事業 (ソフト事業)	周南市民	青少年の非行化の防止と、健全な育成の推進	子どもを見守り育てる活動を通じ、主体的に行動する子どもたちを育むことのできる環境づくりを推進する	・街頭補導活動 合同補導:24回、特別補導:4回 ・環境浄化活動 白ポスト:設置10箇所、回収249	正職員	0.28	臨時等	0	直接事業費	564	委託	否	
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価		B	改善案							
	②	周南広域校外補導連絡協議会活動 (ソフト事業)	地区校外補導組織(17組織)	青少年の非行化の防止と、健全な育成の推進	各地域での非行防止・環境浄化活動を推進することで、主体的に行動する子どもたちを育むことのできる環境づくりを推進する	・青少年指導員連絡会(3回/年) ・運営委員会(2回/年)	正職員	0.06	臨時等	0	直接事業費	50	委託	否	
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他		細事業評価		B	改善案		○関係団体に対し、制度の趣旨の説明を行い協力を依頼する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③ (ソフト事業)						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						B	改善案					
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	青少年指導員については、地域、学校の連携した取り組みを行い、H23・H24年度は47名、平成25・26年度は36名の青少年指導員を委嘱。各地域での適正な人員数に配慮しているが、指導員の固定化が一部で進んでいる。 平成27年度から生涯学習課に事務移管。	前年度までの指摘事項	関係機関や地域等との連携を強化し、活動に取り組みたい。	指摘事項に対する改善状況	青少年指導員については、平成23・24年度47名、25・26年度は36名に委嘱を行い、地域との連携を図った。
	細事業の課題・問題点	公募により各地域より青少年指導員の委嘱を行っているが、固定化が進んでおり、新しい人に関心を持って活動に取り組んでいただくための方策が必要。		事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	警察の少年相談員、地域の校外補導組織等、関係機関との連携を図り、青少年の非行化の防止、環境浄化活動に取り組む必要がある。	改善案	引き続き地域における人員数の適正化や、新たな人員確保のための取組を実施する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	平成27年度より青少年育成センターを教育委員会が所管することで、青少年教育との連携を強化されたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	100303
分野	1教育・子育て
基本施策	3子供の健全育成
推進施策	(3)青少年の社会参加の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
	非常勤職員報酬及び報償金を削減。

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	17044	事務事業名	文化財保護一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民全体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)文化財の保存と活用			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	文化財等の保護に努めるとともに、市民がふれあえる機会の提供に努め、積極的な活用を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内の文化財	意図(どういう状態にしたい): 指定および登録文化財を増やし、郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図る。(文化財件数 H27目標:106件)	事業の内容(手段)	文化財に関する調査等を行う。市民の誇りにつながる歴史文化への理解を深める。	【2 文化・芸術活動】	41.40%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	山口県教育庁からの調査・照会への回答、電話等による各種問い合わせ対応、文化財防火デーに伴う防火訓練を実施した。また、周南市文化財審議会を開催し、市指定文化財候補や史跡の整備について協議した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,602	1,642	1,642	1,823		1,642						
事業目標	目標名	文化財件数	計算式	達成項目/目標項目	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	1,572	1,572	1,572	1,753	1,572
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,292	1,393		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	98.0	99.0	105.0	106.0	107.0	(決算額)	うち一財	千円	1,238	1,340	文化財保護担当の港町庁舎から分庁舎への移転に伴う経費の臨時的増(+154千円)	左記臨時的経費の減	
	実績値	96.0	104.0	104.0			正職員人件費	千円	2,710	3,032	0.35			
	達成度(%)	98.0%	105.1%	99.0%			人工数	人	0.37	0.41				
							支出コスト	千円	決) 4,002	決見) 4,425				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	文化財保護一般事務費 (経常的事務事業)	市内の文化財	市が文化財保護の周知に努め、市民の文化財保護への関心を高める	文化財に関する、適切な保護措置をとる	山口県教育庁からの調査・照会への回答、電話等による各種問い合わせ対応、文化財防火デーの実施ほか	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.3	1	1,359	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 郷土の歴史に関する専門的な問い合わせもあり、スタッフは一定の専門知識を必要とする。					B	改善案	継続的に文化財保護業務を進めることができる体制について、検討する。					
	②	文化財調査の実施、文化財審議会の開催 (経常的事務事業)	市内の文化財	市が未指定文化財を調査し、文化財の保護を充実させる	市内の文化財件数を105件とする。	文化財件数は増加しなかったが、市指定文化財候補や史跡整備について検討した	0.11	0	34	否	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 有形文化財(建造物)や史跡の調査・整備案の検討等、適切な文化財保護施策を計画的に進める必要がある。					B	改善案	周南市文化財審議会に諮りながら、計画的な調査・整備等について、検討する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	郷土の文化・歴史を伝えるため必要な恒久的事務である。また、市民の文化財等への関心も高まっており、電話等による問い合わせも多い。	前年度までの指摘事項	事業の継続は必要と考えるが、関係機関等とも協議を重ね、その実施方法やコスト等を見直しのうえ、効果的・効率的な事業運営を行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	スタッフの知識向上とともに、効果的・効率的な事業運営を図っている。
	細事業の課題・問題点	郷土の歴史に関する専門的な問い合わせもあり、スタッフは一定の専門知識を必要とするため、継続的に業務を進める体制を構築する必要がある。また、有形文化財(建造物)や史跡の調査・整備など適切な文化財保護施策について、計画的に実施していく必要がある。	事業全体の課題・問題点	推進施策への貢献度は高く、今後も文化財の周知に努め、市民の文化財保護への関心を高めていく必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	郷土の文化・歴史を伝えるため必要な恒久的事務であり、調査を実施するとともに、有形文化財や史跡の調査・整備計画の策定について検討する必要がある。	改善案	文化財保護に関する計画について、周南市文化財審議会に諮りながら検討を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 事業の継続は必要と考えるが、市としての主体性を発揮しつつ、関係機関等とも協議を重ね、効果的・効率的な事業運営に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200202
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(2)文化財の保護と活用の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
業務の効率化を図るため、文化財保護担当の執務場所を港町庁舎から分庁舎へ移転・集約することとし、そのための経費を計上した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	152005	事務事業名	文化財等管理運営事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民全体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)文化財の保存と活用			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	文化財等の保護に努めるとともに、市民がふれあえる機会の提供に努め、積極的な活用を図ります。			25年度市民評価の満足度	【2 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内の文化財	意図(どういう状態にしたい): 文化財の保護に努めるとともに、積極的な活用を図る。また、文化財の保護意識を高める。 (山田家本屋見学者数 H27目標:3,200人)	事業の内容(手段)	文化財等の保護及び活用にあたり、効率的な管理運営を行う。市民の誇りにつながる歴史文化が保護され、利用機会を提供する。	市民の誇りにつながる歴史文化が保護され、利用機会を提供する。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	市所有の県指定文化財「山田家本屋」「徳修館」の管理運営業務のほか、「徳修館」の雨樋改修工事、「勝栄寺土塁」環境美化整備等を行った。また、文化財等看板修繕(1件)、標柱作成(2件)を行ったほか、「山田家本屋」パンフレットを作成した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	3,690	6,670	3,837	6,518		10,261							
事業目標	目標名	山田家本屋入館者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	3,690	6,670	3,837	6,518	10,261	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,832	6,813			対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	2,900.0	3,000.0	3,100.0	3,200.0	3,300.0	(決算額)	うち一財	千円	3,832	6,813		タイワンゴヨウ剪定(2,000千円)、市史跡「徳山毛利家墓所」整備費補助(704千円)に伴う臨時的増	左記臨時的経費の減。山田家本屋修理工事に伴う臨時的増(6,448千円)	
	実績値	1,807.0	2,076.0	2,939.0			正職員人件費	千円	2,271	2,366		0.30			
	達成度(%)	62.3%	69.2%	94.8%			人工数	人	0.31	0.32		0.30			
							支出コスト	千円	決) 6,103	決見) 9,179					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト						
	①	文化財管理一般事務 (経常的事務事業)	指定文化財等	文化財等を適切に管理し、市民の利用を進める	文化財等看板の設置やパンフレット等の作成・配布を通じた、市民への周知	指定文化財等の管理相談及び助言。文化財等看板修繕(1件)、標柱作成(2件)。山田家本屋パンフレットの作成。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
				<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他	細事業評価										
	細事業の課題	市内各地に設置した文化財等看板の劣化が進んでいる。				B	改善案	現状確認調査を行ったうえで、計画的に修繕・更新を行っていく。							
	②	指定文化財等の管理運営、整備 (施設等管理運営事業)	県指定文化財「山田家本屋」「徳修館」「若山城跡」「勝栄寺土塁」など	文化財等を適切に管理し、整備したうえで市民への周知と利用促進を図る	山田家本屋入館者数 3,100人	各施設の管理運営業務のほか徳修館雨樋の改修工事を実施した。山田家本屋入館者数は、目標に届かなかったものの増加した。	0.13	0	6,467	可	可				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他				細事業評価										
	文化財の定期的な維持補修が必要である。また管理を行っている保存団体の高齢化が進んでいる。				B	改善案	文化財の計画的な整備計画を図るとともに、管理のありかたについて保存団体等と協議を行う。								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	「山田家本屋」への入館者数が増加傾向にあることが示すように、市民の文化財への関心はますます高まっており、適切な管理・整備をすすめていく必要がある。	前年度までの指摘事項	事業の継続は必要と考えるが、その実施方法やコスト等を見直しのうえ、効果的・効率的な事業運営を行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	保存団体の高齢化や後継者不足について、引き続き有効な対策に関する協議をすすめる。
	細事業の課題・問題点	市内各地に設置した文化財等看板の劣化が進んでいる。また、文化財の定期的な維持補修が必要であるほか、管理を行っている保存団体の高齢化が進んでいる。	事業全体の課題・問題点	計画的な維持補修・整備の必要性について検討が必要。また、保存団体の高齢化が進んでおり、文化財を管理するために必要な手立てについて検討を進める必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	保存団体の育成について有効な策を検討する必要があるが、引き続き市民の文化財に対する愛着心を育む事業を実施する。	改善案	保存団体との意見交換を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 事業の継続は必要と考えるが、市としての主体性を発揮しつつ、保存団体等とも協議を重ね、効果的・効率的な事業運営に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200202
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(2)文化財の保護と活用の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き、最小限の経費で、効率的な管理運営に努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者(課長)	山本 英樹	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	152009	事務事業名	埋蔵文化財保護費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民全体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)文化財の保存と活用			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	文化財等の保護に努めるとともに、市民がふれあえる機会の提供に努め、積極的な活用を図ります。			25年度市民評価の満足度	【2 文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内の埋蔵文化財	意図(どういう状態にしたい): 埋蔵文化財保護をすすめていくとともに、郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図る。 (試掘・立会調査件数 H27目標:11件)	事業の内容(手段)	周知の埋蔵文化財包蔵地照会に対応する。やむをえず破壊される埋蔵文化財に必要な調査等を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	埋蔵文化財の照会に対する回答、権限移譲にかかる山口県教育庁への事務処理状況報告、工事前の試掘調査、久米区画整理事業地内(垣外遺跡)における発掘調査ならびに出土遺物の整理作業を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	4,592	4,394	4,360	4,981		4,360						
事業目標	目標名	試掘・立会調査件数	計算式	達成項目/目標項目	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	3,958	3,760	3,726	4,396	3,726
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,631	3,499				
	目標値	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	(決算額)	うち一財	千円	299	2,914			
	実績値	10.0	17.0	5.0			正職員人件費	千円	9,156	7,469				
	達成度(%)	125.0%	188.9%	50.0%			人工数	人	1.25	1.01	1.00			
							支出コスト	千円	決) 12,787	決見) 10,968				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	埋蔵文化財一般事務費 (経常的事務事業)	埋蔵文化財	民間業者等に周知し、適切な保護を推進する	埋蔵文化財の保護について周知し、照会手続きの徹底を図る	埋蔵文化財の照会371件に対する回答、権限移譲にかかる山口県教育庁への事務処理状況報告、県事業への調査協力などを行った。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.15	0	0	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 埋蔵文化財の保護について、民間業者等に必要性和手続きの周知徹底を図る必要がある。					B	改善案	引き続き「周知の埋蔵文化財包蔵地」を周知し、迅速な対応に努める。					
	②	試掘・立会調査 (経常的事務事業)	埋蔵文化財	事前調査を行い、埋蔵文化財の適切な保護を行う	工事に先立つ調査を実施し、遺構の保存について協議を行う	工事前の試掘調査を5件行った。	0.34	0.4	1,071	否	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 埋蔵文化財の保護について、市の開発部局や民間業者等に必要性和手続きの周知徹底を図る必要がある。					B	改善案	久米区画整理事業の終息に伴い、試掘件数全体が減少しているが、引き続き市の開発部局等と連携しながら、周知と適切な保護に努める。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	本発掘調査 (経常的事務事業)	埋蔵文化財	発掘調査を行い、埋蔵文化財の適切な保護を行う	工事に先立つ調査を実施し、遺構の記録保存を行う	久米・垣外遺跡において2件の発掘調査を行った	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							0.41	1.2	1,821	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 コストを抑えながら、最大限の成果が得られるよう努力する必要がある。					B	改善案	原因者との事前の協議を重ねながら、効率的な調査を行う。			
	④	出土遺物整理 (経常的事務事業)	出土遺物	洗浄、接合、実測、報告書執筆を行う	発掘調査が終了したのから随時、報告書を刊行していく	出土遺物の洗浄、接合、分類を実施し、久米・垣外遺跡第1次～第3次調査資料について実測を開始した。	0.11	0.4	607	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 遺物の出土量が膨大であり、報告書刊行に向けて、計画的な整理作業を行っていく必要がある。					B	改善案	出土遺物の分類、実測、報告書の編集を段階的に実施していく			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	平成24年度以降、久米区画整理事業地内での遺跡発見に伴い、発掘調査、試掘調査が激増したが、同事業の終息に伴い、調査件数は減少傾向にある。ただし、これまでに出土した資料の整理業務が激増しており、報告書刊行に向けて、計画的な整理作業を行っていく必要がある。		埋蔵文化財の保護について、市の開発部局や民間業者等に必要性と手続きの周知徹底を図る必要がある。出土資料については、報告書刊行に向けて、計画的な整理作業を行っていく必要がある。	効果的・効率的な事業運営をすすめていく
			事業全体の課題・問題点	埋蔵文化財は国民共有の財産であり、開発行為等による破壊を防ぐために必要な事業である。今後も市の開発部局等と連携して、保護を推進する必要がある。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	埋蔵文化財保護の周知方法や調査の効率を高める工夫をしながら、保護活動を進めていく必要がある。また、現場での調査と並行して、計画的な整理作業を実施し、段階的に報告書を刊行していく必要がある。	改善案	関係者と協議のうえ、有効な方策について検討する。整理業務計画を策定する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 事業の継続は必要と考えるが、その実施方法やコスト等を見直しのうえ、効果的・効率的な事業運営を行う必要がある。また、整理作業終了後の出土資料の積極的な活用法について検討されたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200202
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(2)文化財の保護と活用の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
長穂地区で予定されている圃場整備事業に伴い必要となる試掘調査経費を計上した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	152014	事務事業名	民俗資料展示室管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民全体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)文化財の保存と活用			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	文化財等の保護に努めるとともに、市民がふれあえる機会の提供に努め、積極的な活用を図ります。			25年度市民評価の満足度	
					【2 文化・芸術活動】	41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 市内の文化財を保護するとともに、文化財保護の意識を高め、郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図る。 (新南陽民俗資料展示室見学者数 H27目標:2,200人)	事業の内容 (手段)	民俗資料展示関連の3施設の効率的な管理運営を行う。市民が自らの暮らしの歴史を学ぶ機会を提供する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	民俗資料の収集・展示、資料に関する調査研究、企画展「周南市文化財マップ探訪」の開催、小・中学校の団体見学への対応などを行った。また、新南陽・熊毛・鹿野の各施設等で保管している資料調査を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	2,724	2,734	3,120	2,665
							(予算額) うち一財	千円	2,719	2,731	3,117	2,662	2,636	
事業目標	目標名	新南陽民俗資料展示室入館者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	直接事業費	千円	2,688	2,636			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	2,685	2,633			資料調査終了に伴う施設管理委託料の減(-495千円)等	
	目標値	1,900.0	2,000.0	2,100.0	2,200.0	2,300.0	正職員人件費	千円	879	1,553				
	実績値	1,238.0	1,523.0	1,291.0			人工数	人	0.12	0.21	0.30			
	達成度(%)	65.2%	76.2%	61.5%			支出コスト	千円	決) 3,567	決見) 4,189				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	施設管理 (施設等管理運営事業)	来館者	新南陽・鹿野・熊毛の各施設を快適に利用できる	新南陽民俗資料展示室来館者数 2,100人	嘱託雇用事務、施設管理にかかる諸契約事務、施設修繕などを行った	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.08	0.1	1,400	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 新南陽民俗資料展示室は、旧幼稚園施設であり資料等保管スペースがない。また、施設の老朽化により雨漏り等が発生している。					B	改善案	郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図るうえで民俗資料の展示機能は必要であり、代替検討が必要である。					
②	施設運営、資料調査 (ソフト事業)	来館者	郷土の歴史や民俗・文化について学ぶことができる	新南陽民俗資料展示室来館者数 2,100人	企画展「周南市文化財マップ探訪」を開催したほか、小・中学校の団体見学への対応などを行った。鹿野地区保管の資料調査を行った。	0.13	0.9	1,236	可	可				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 入館者数が減少しており、市内小中学校への利用呼びかけや、効果的な企画展の実施などについて検討していく必要がある。また、新南陽・熊毛・鹿野の各施設で保管している民俗資料の現状把握や重複状況について継続して調査し、代替え施設の検討を行う必要がある。					B	改善案	資料調査を継続して実施していく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	入館者数が減少しており、新南陽・熊毛・鹿野の各館について、運営のありかたを総合的に検討する必要がある。職員が常駐する新南陽の施設は老朽化が進行しており、早急に代替検討が必要である。	前年度までの指摘事項	周南市の歴史の伝承は必要であるが、展示室として運営する必要性も含め、事業の方向性の検討が必要である。新南陽民俗資料展示室については建物が老朽化していることから、施設の更新も視野に入れ検討する。	指摘事項に対する改善状況	平成25年度に開始した資料の重複調査を継続して行い、施設移転、統合プラン等について検討を進めている。
	細事業の課題・問題点	新南陽民俗資料展示室は、入館者数が減少しており、市内小中学校への利用呼びかけや、効果的な企画展の実施などについて検討していく必要がある。また、同施設は旧幼稚園施設であり資料等保管スペースがないほか、施設の老朽化により雨漏り等が発生している。新南陽・熊毛・鹿野の各施設で保管している民俗資料の現状把握や重複状況について継続して調査し、代替え施設の検討を行う必要がある。	事業全体の課題・問題点	入館者数が減少しており、増加のための効果的運営について検討が必要である。また、新南陽民俗資料展示室の老朽化が進み、さらに保管スペースも不足していることから代替施設を検討する必要がある。併せて3施設に分散して展示保管する資料の重複調査を継続して実施し、市内各地の民俗資料を比較的に観覧できる展示施設の検討など、入館者数の増加につながる統合プランの策定が必要である。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	各展示室を運営しながら、今後の事業の方向性について検討を継続する必要がある。	改善案	資料調査の結果から重複資料の洗い出しを進め、施設の移転、統合等について検討する。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	C	周南市の歴史の伝承は必要であるが、入館者数が減少しており、事業の方向性の検討が必要である。新南陽民俗資料展示室については建物が老朽化していることから、早急に代替施設を検討する必要があるとともに、入館者数の増加につながる新たな施設の運営プランについて検討されたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200202
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(2)文化財の保護と活用の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
新南陽民俗資料展示室については、施設の老朽化に伴い、代替措置をとったうえで平成28年度から一時休館することとし、新たな施設の運営プラン検討などの準備を進めることとした。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	152017	事務事業名	鶴保護対策事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 23 文化・芸術活動の振興	基本方向	優れた文化・芸術にふれる機会を充実するとともに、市民主体の文化・芸術活動の振興や郷土の特色ある歴史や文化の伝承を図り、文化の香るまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)文化財の保存と活用			【文化・芸術活動の推進に対する満足度】	36.10%
	推進施策の展開	ナベツルの保護について、ねぐら等の環境整備を進めるとともに、移送・放鳥事業を継続します。			25年度市民評価の満足度	【文化・芸術活動】 41.40%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・国指定文化財「特別天然記念物八代のツルおよびその渡来地」 ・ツルに関心のある市民	意図(どういう状態にしたい): 特別天然記念物「ナベツル」の保護活動により、市民の文化財保護の意識が高められる。 (ツル渡来数 H27目標:10羽)	事業の内容 (手段)	・野鶴の監視体制として、監視員・鶴保護研究員を設け、生態調査やデータの収集を行う。 ・環境整備として、11か所のねぐら整備(除草及び水田化)や餌場整備として稲科植物の栽培委託を行う。また、安全な餌場確保(観光客の侵入防止)としてネットによる農地の囲い込みを行う。 ・保護ツルの移送について、関係機関との調整の上12月に予定している。保護ツルの管理として、飼育員を配置し観察等を行いデータの収集を行う。また、健康管理として獣医等による診断を定期的に行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	事業計画の協議・検討としてツル保護協議会及び専門委員会を年2回開催した。 ・渡来期間中、野鶴監視員と鶴保護研究員を配置し、行動データの収集及び監視を行った。 ・ねぐらや餌場確保として、11か所のねぐら整備(草刈・水田化)と餌場整備を行い、また森林地区と県道沿いに侵入防止ネットを設置した。(H26年度渡来数 11羽) ・出水市・県と移送事業に係る協議を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	21,610	21,834	19,647	19,588		19,452							
事業目標	目標名	ツル渡来数	計算式	渡来数/目標渡来数	単位	羽	(予算額)	うち一財	千円	6,746	6,820	7,452	8,525	8,389	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	21,602	21,036	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	23.0	10.0	10.0	10.0	10.0	(決算額)	うち一財	千円	6,738	6,613				
	実績値	8.0	9.0	11.0			正職員人件費	千円	14,357	15,308					
	達成度(%)	34.8%	90.0%	110.0%			人工数	人	1.96	2.07	2.07				
							支出コスト	千円	決) 35,959	決見) 36,344					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	野鶴監視、調査研究事業 (ソフト事業)	鶴保護研究員 野鶴監視員が行う事業	ツルの監視・生態等の調査、データを収集して保護活動に役立てる。	・渡来期間中、ねぐらや餌場の利用(時間帯)場所の調査 ・餌場内への観光客侵入件数「0」	ツルの監視・生態調査、データ収集、ねぐらや餌場の利用状況確認	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 鶴保護研究員が高齢であるため、後任者の選定を検討する必要がある。					細事業評価								
	②	鶴保護センター管理事業 (ソフト事業)	施設管理事業	傷病ツルの治療並びに渡来数増羽に向けての保護ツルの受入、放鳥施設	保護ツルの受入・放鳥、並びに傷病ツルの治療。	ツル保護センターの適切な管理。施設を一般開放し、事業の周知を行う。 移送数17羽、内15羽放鳥	0.41	0.5	563	否	可				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・保護ツルの移送数について一定数の確保が難しい。そのため計画的な放鳥が実施できない。					細事業評価									
							B	改善案	国、出水市等と協議を重ねながら保護ツルの移送数確保に努める。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	管理運営事業 (経常的事務事業)	事業実施に係る事務	鶴保護対策事業の円滑な運営	計画どおりの事業進捗	ツル保護協議会及び専門委員会を開催、ネグラ整備等を計画的に実施し、ツルの越冬環境整備を行った。	正職員	臨時等	13,959	否	可		
							1.03	0					
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 専門的な知識を必要とし、試行錯誤を重ねながら事業運営を行うため、事業方針の判断等事業の難しさがある。						細事業評価							
						B	改善案	ツル保護協議会及び専門委員会への協議及び判断を仰ぎながら事業を行う。また、職員の専門的知識の習得に努める。					
④													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	ツル渡来数は微増ではあるものの厳しい状況である。また、市民団体等から渡来数の増派に向けた要望は強く、引き続き、生息環境の整備並びに保護ツルの移送・放鳥事業に取り組んでいる。この事業は、自然環境に左右されやすいため、短期間により成果を上げることが難しい。さらに長期にわたる事業の継続が必要である。	前年度までの指摘事項	広く事業をPRし、ふるさと応援寄付金を集めるなどの努力が必要である。なお、マニュアル整備をはじめ、業務・リスク管理を適切にされたい。 【前年度評価結果 B】	指摘事項に対する改善状況	シンボルマークのシール配布やツルツイッターの開設などPRに努めている。また施設管理や保護業務の管理マニュアルを更新した。
	細事業の課題・問題点	事業内容が専門的かつ複雑であり、また、結果が短期間であらわれない。よって長期的な事業となるため判断する難しさがある。	事業全体の課題・問題点	事業目標であるツルの渡来数の回復は、気象などの自然条件に左右され、速効性のある対策事業が見出されず事業運営に苦慮している。現段階では、現行の事業を継続して効果を見ながら判断していかなければならない。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	自然環境に左右されやすく、また短期間で結果があらわれない事業であり、長期的な事業の継続が必要であるため。	改善案	国、県、関係機関と連携及びツル保護協議会等に対して協議をかさねながら事業を実施していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B ツルの生息環境整備は、現状維持で継続しつつ、放鳥事業については、保護ツルの移送について出水市との協議を続ける。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200202
分野	2生涯学習・人権
基本施策	2文化・芸術活動の振興
推進施策	(2)文化財の保護と活用の促進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
ツルの越冬環境整備の内容について、ツルのネグラ利用率などを調査し、見直しを行った。保護ツルの飼育期間についての検討を行った。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132017	事務事業名	公民館管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的・継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○老朽化した地区公民館などの社会教育施設は、計画的な整備・改修に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 地区公民館	意図(どういう状態にしたい): 生涯学習・地域活動の拠点である地区公民館の管理・運営における、市民の自主的・継続的な学習活動の支援 (公民館使用料 H26目標:1,400千円)	事業の内容 (手段)	公民館の管理・運営 公民館施設の維持・管理 地域参画型公民館事業		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	40公民館の管理・運営、非常勤職員の雇用 公民館施設の維持・管理 各公民館の事業実績報告 各公民館運営協議会の会議報告 地域参画型公民館事業の実施(岐山・遠石・今宿・中央地区・周陽・秋月・桜木)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	94,007	92,790	96,209	104,347		104,124						
事業目標	目標名	公民館使用料(歳入)	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	92,014	90,269	93,718	101,868	102,124
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	93,228	96,667			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	1,400,000.0	1,400,000.0	1,400,000.0	1,400,000.0	1,400,000.0	(決算額)	うち一財	千円	90,939	94,391		榑浜公民館の地域団体による施設管理運営に係る交付金及び、同施設施設維持管理費等の増	榑浜公民館指定管理へ移行のため減
	実績値	1,435,415.0	1,332,700.0	1,499,540.0			正職員人件費	千円	13,918	11,093	2.27			
	達成度(%)	102.5%	95.2%	107.1%			人工数	人	1.90	1.50				
							支出コスト	千円	決) 107,146	決見) 107,760				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	公民館の管理・運営	地区公民館	公民館の管理・運営	市民の自主的・継続的な学習活動の支援	市民の生涯学習・地域活動の場として、公民館の利用件数・利用者数は安定している。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							1.1	0	73,086	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 公民館は、市民の生涯学習・地域活動の拠点施設として十分機能しているが、住民ニーズの分析や生涯学習機能のさらなる充実が必要である。					細事業評価							
②	公民館施設の維持・管理 (施設管理運営事業)	地区公民館	公民館施設の維持・管理	公民館施設の安心・安全確保と機能の充実	老朽化が課題となっている地区公民館の施設・設備の修繕を実施	0.1	0	6,501	否	可				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 公民館施設・設備の老朽化					細事業評価								
						A	改善案	施設の維持管理を計画的に行う。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	地域参画型公民館事業 (施設管理運営事業)	地域参画型公民館 (中央7公民館)	中央7館の管・運営	市嘱託職員と、地区生涯学習推進協議会の協働による公民館運営	地域参画型による公民館の管理・運営により、各地区で特色ある事業を実施することができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
							0.3	0	17,080	可	可		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 公民館は、市民の生涯学習・地域活動の拠点施設として十分機能しているが、住民ニーズの分析や生涯学習機能のさらなる充実が必要である。				B	改善案	「生涯学習推進プラン」を基に、事業を推進する。					
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	各公民館施設を拠点として、地区住民の自主的・継続的な学習活動及び地域づくり活動が行われてきたが、施設の老朽化、利用者の高齢化や社会情勢の変化による学習ニーズの多様化が起きている。	今後施設の再配置を進め、地域コミュニティを推進していくに当たり、支所機能の統合等を行い、地域コミュニティの拠点施設とし転用を検討されたい。
	公民館施設の多くが老朽化しており、修繕料を始めとする維持・管理経費が増大している。利用者の高齢化や社会情勢の変化により、公民館に対する市民のニーズが高度化・多様化している。	事業全体の課題・問題点	公民館は、地区住民の生涯学習・地域活動の拠点として重要度を増す一方で、地域を支える人材の発掘・育成が課題となっている。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	公民館は、市民の生涯学習、地域活動の拠点として、今後も機能すべき施設である。
			改善案	ハード面での環境整備に努めるとともに、ソフト面についても公民館主事のスキルアップをサポートする等、市民がより活動しやすい公民館の環境を整える。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	引き続き、生涯学習・地域活動の拠点施設として利用価値が高まるよう、公民館運営に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
公民館管理の指定管理を視野に入れた櫛浜公民館の運営について、地域参画型公民館に移行し地域人材の発掘・育成を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132030	事務事業名	公民館整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的・継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○老朽化した地区公民館などの社会教育施設は、計画的な整備・改修に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 榎浜公民館	意図(どういう状態にしたい): 老朽化が目立つ榎浜公民館・支所の建替えにより、地区住民の自治力・地域力の向上を図る。 (H26目標:敷地造成工事、建築工事に着手)	事業の内容 (手段)	ハード面＝建設予定地整備工事・建物建設工事 ソフト面＝地区住民と管理運営面についての協議を重ね、主体性のある地域特性を生かした運営へとシフトできるよう努める。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	新榎浜公民館・支所の改築工事に着手 新榎浜公民館・支所の供用開始後の管理運営について、榎浜まちづくり協議会会議の開催 既存施設の解体設計						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	33,518	152,873	395,827	30,477								
事業目標	目標名	設計等業務の進捗	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額) うち一財	千円	8,418	39,973	98,527	9,297		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	7,475	131,843				
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額) うち一財	千円	1,975	33,843				
	実績値	100.0	100.0	100.0			正職員人件費	千円	1,465	1,479				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.20	0.20	0.02			
							支出コスト	千円	決) 8,940	決見) 133,322				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	榎浜公民館整備事業	榎浜公民館	老朽化した榎浜公民館の建替えを行う	新榎浜公民館・支所の建替えに着手	建設予定地の造成工事完了 平成27年度中の共用開始に向け、榎浜公民館の建替えに着手	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.2		131,843	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 施設の管理運営について、地域住民等との調整を引き続き行い、地元参画の管理運営へのスムーズな移行へ繋げる。					A	改善案	施設の管理運営面での具体的な協議を深化させる。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題											改善案	
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題											改善案	

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<p>榊浜地区住民の生涯学習活動や地域活動の拠点である、榊浜公民館の建替えが具体化し、榊浜まちづくり協議会が発足、まちづくりの機運が高まっており、施設の設計段階から地域との協議を重ねている。</p>	前年度までの指摘事項	<p>・厳しい財政状況下での公民館建替えであり、今後の公民館のモデルとなる事業である。管理運営方法も含め、地元との協議を深化する必要がある。</p>	指摘事項に対する改善状況	<p>管理運営方法について榊浜まちづくり協議会及び関係部署との協議を重ねることができた。</p>
	細事業の課題・問題点	<p>厳しい財政状況下での公民館建替えであるため、地区住民の理解と市の関係各課の協力体制が必要である。</p>	事業全体の課題・問題点	<p>○厳しい財政状況下での公民館建替えであるため、地区住民の理解と市の関係各課の協力体制が必要である。 ○新たな施設整備については、施設の再配置を見据え、計画的な整備が必要である。</p>		

所管課評価						
評価	A	<p>A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討</p>	評価理由	<p>施設の老朽化が課題であった榊浜公民館・支所の建替えに向け、地元との協議を踏まえて、施設建設工事に着手した。</p>	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	A	<p>公共施設再配置計画に先行して、地域との協働で取り組んできた公民館整備事業であるが、生涯学習・地域活動の拠点施設として、利用価値が高まるような管理運営に努められたい。</p>

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
<p>第2次耐震診断業務委託等を改修事業から組み換え、平成28年度大向公民館の耐震診断を実施することで、公民館施設整備計画策定の基礎データを整えることができる。</p>

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132029	事務事業名	公民館施設改修事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的・継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○老朽化した地区公民館などの社会教育施設は、計画的な整備・改修に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 地区公民館	意図(どういう状態にしたい): 地域活動の拠点である地区公民館の安心・安全と利便性の向上。 (公民館利用者数 H26目標:472千人)	事業の内容 (手段)	公民館施設の計画的な改修 公民館施設の第2次耐震診断業務		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	第2次耐震診断(菊川、岐山、須々万) 空調設備の改修(須々万・杵島・加見分館) 内壁・外装補修(高水) 旧ボイラー設備撤去(和田・周陽・桜木・秋月) 調理室空調設備取付(今宿・岐山・遠石) 晝表替え(周陽・秋月・戸田・中須・四熊・大島)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	8,882	18,364	7,158	0		0						
事業目標	目標名	公民館利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額) うち一財	千円	8,882	17,039	6,051	0	0	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	7,550	17,231		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	472,000.0	472,000.0	472,000.0	472,000.0	472,000.0	(決算額) うち一財	千円	6,565	16,864		公民館の大規模改修が終了		
	実績値	471,932.0	438,619.0	476,545.0			正職員人件費	千円	1,465	1,479				
	達成度(%)	100.0%	92.9%	101.0%			人工数	人	0.20	0.20	0.02			
							支出コスト	千円	決) 9,015	決見) 18,710				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	①	公民館施設の改修	地区公民館	公民館施設の改修・機能の充実	公民館施設の安心・安全を確保し、使いやすい公民館に改修、機能を充実させる。		外壁改修、空調改修、第2次耐震診断 その他機能維持のための改修を実施できた。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
									0.2		17,231	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 第2次耐震診断結果に基づく耐震補強計画をたてる必要がある。 老朽化が激しい施設の方向性の検討						B	改善案	公共施設再配置計画と整合性を図りながら維持補修を検討する。				
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他							改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	各地区住民の学習活動や地域活動の拠点として、公民館は長い間に親しまれ利用されてきたが、多くの施設や設備は老朽化が進んでいる。また近年では、公民館利用者の自家用車での来館が多く、駐車場が手狭な状況である。	前年度までの指摘事項	施設の再配置方針を見据え、計画的な改修を実施すること。	指摘事項に対する改善状況	「出先機関再配置プロジェクトチーム」により、今後の施設のあり方を調査・研究する。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習活動や地域活動の拠点である公民館の改修や耐震診断により、機能を充実させ、安心・安全の確保に努めてきたが、建設後30年以上経過した施設が多く、改修が十分に実施されているとはいえない。また耐震診断の結果、多くの施設が耐震性がないことが判明したことに伴い、今後耐震補強工事を計画的に実施する必要がある。 公民館利用者の駐車場の確保が必要。特に中央地区公民館と今宿公民館は早急な対策を要する。 	事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の老朽化対策 生涯学習活動や地域活動の拠点である公民館の改修や耐震診断により、多くの施設が耐震性がないことが判明したため、耐震補強工事を計画的に実施する必要がある。 公民館利用者の駐車場の確保が必要。特に中央地区公民館と今宿公民館は早急な対策を要する。 		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	公民館は、これからも各地区における生涯学習活動・地域活動の拠点であるため、計画的に改修し、安心・安全の確保及び、利便性の向上に努めなければならない。	改善案	「出先機関再配置プロジェクトチーム」により、今後の施設のあり方について、調査・研究する。また駐車場の確保を検討するなど、利用しやすい施設整備に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 施設・設備の改修を、国の補正予算を活用して効果的に実施できた。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
公民館整備事業へ組み換え

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132020	事務事業名	中央公民館管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的・継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	「第2期周南市生涯学習推進プラン」に沿って、市全体で生涯学習を推進する体制を整備します。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市を含む近隣住民 周南市内公民館職員	意図(どういう状態にしたい): 地域づくりコーディネーターを担う公民館主事のスキルアップ ふるさと周南への愛着心の醸成 (出前トーク利用者数 H26目標:7,500人)	事業の内容 (手段)	公民館相互の連携を強化し、地域で活躍できる職員の育成、資質向上を図る。 公民館運営審議会を開催する。 ふるさと歴史講座等、全市対象の公民館講座や周南市歴史博士検定を開催する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	周南市公民館運営審議会1回開催 公民館新任職員研修会・主事研修会開催 市民対象講座開催(歴史講座4回・女性の品格向上委員会4回・山口県立大学周南サテライトカレッジ4回) 第6回周南市歴史博士検定及び検定合格者授賞式&スペシャル講演会の開催						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	943	881	0	0		0						
事業目標	目標名	しゅうなん出前トークの利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	573	546	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	620	610		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	7,500.0	7,500.0	7,500.0	7,500.0	7,500.0	(決算額)	うち一財	千円	288	284	学び・交流プラザ管理運営事業費に統合	学び・交流プラザ管理運営事業費に統合	
	実績値	8,145.0	9,794.0	10,442.0			正職員人件費	千円	11,720	11,093	0.00			
	達成度(%)	108.6%	130.6%	139.2%			人工数	人	1.60	1.50				
							支出コスト	千円	決) 12,340	決見) 11,703				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	公民館講座の企画・運営 (ソフト事業)	市民	全市を対象とした公民館講座を開催し、現代的課題の解決を図る。	全市を対象とした公民館講座を開催し、現代的課題の解決を図る。	・市民対象講座開催(歴史講座4回・女性の品格向上委員会4回・山口県立大学周南サテライトカレッジ4回)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.2	0.8	102	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 職員の事務が煩雑で、講座開催回数に限られてくる。					B	改善案	学び・交流プラザへ事業を移行する。					
	②	周南市歴史博士検定 (ソフト事業)	市民	周南市の歴史を深く学ぶことにより、ふるさと周南への愛着心を醸成。	周南市の歴史を深く学ぶことにより、ふるさと周南への愛着心を醸成。	第6回周南市歴史博士検定及び検定合格者授賞式&特別公演会の開催	0.5	0.1	275	否	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 周南市歴史博士検定の受験者が減少している。					B	改善案	市内に限らず市外にも情報発信を行い、参加者の増加を目指す。事業の見直しを行い、整理をする。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
事業を構成する細事業【26年度実績】	③	公民館運営審議会 (ソフト事業)	周南市公民館40館	市内公民館の管理・運営に関する諮問	市内公民館の管理・運営に関する助言や提言	公民館運営審議会(1回)開催・会議録作成・情報公開	0.2	0	59	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 公共施設再配置計画の進捗状況を見守る必要がある。					細事業評価						
	④	市内公民館統括・管理運営指導 (ソフト事業)	市内公民館職員	事務の統括・管理運営指導を行うことで、地域づくりのコーディネーター役を担う公民館職員のスキルアップを図る	地域づくりのコーディネーター役を担う公民館職員のスキルアップ	○公民館新任職員研修会(4月)	0.3	0	174	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 その他の事務が煩雑で、研修会開催回数に限られてくる。					細事業評価						
						B	改善案	事務の見直しを行い、事務の整理をする。					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
課題・問題等	少子高齢化社会、経済状況の停滞が続き、地域づくりにおける公民館への期待感、コーディネーターとしての役割が重要度を増してきた。		平成27年度中に、中央公民館機能は、生涯学習課に移す方向で検討する。
	地域づくりを担う公民館(ソフト面)の役割が重要度を増す一方で、公民館施設の老朽化が進み、公共施設全体を視野に入れた施設の再配置計画に基づいて、管理・運営していく必要がある。	事業全体の課題・問題点	施設面＝市民館別館(2階は小ホール)の1階交流スペースなどは、中央公民館機能を生涯学習課に移した後も、当面は市民団体が活動できるようサービスの確保に努める。

所管課評価					
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	各地区公民館での生涯学習活動・地域活動の継続には、生涯学習課のサポートが欠かせない。	改善案 生涯学習課として地区公民館の統括業務を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	D 事業廃止と学び交流プラザ管理運営事業への移管

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
学び・交流プラザ管理運営事業費及び公民館管理運事業費に統合

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132038	事務事業名	生涯学習センター管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的・継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○市民の自主的・継続的な学習活動を支援するための環境の充実に努めます。 ○多様なニーズや、少子高齢化や環境問題をはじめとした現代的課題に対応した講座の開催など学習機会の提供に努めます。 ○学んだ成果を地域のまちづくり活動に生かすことができるような場を積極的に提供していきます。			25年度市民評価の満足度	【生涯学習の推進】 41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): 市民の自主的・継続的な学習活動を支援し、学んだ成果のまちづくりへの還元を促す。 (メルマガ登録者数 H26目標:4,200人)	事業の内容 (手段)	HP・メールマガジン・情報紙「ふあいんど」・情報コーナー等を活用し、学習情報を提供する。 市民からの様々な学習相談に対応する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	ホームページ(随時更新)、情報紙(12回発行/年)、メールマガジン登録(大人向け 2,358件/子ども向け 2,085件) 学習相談の対応(随時対応)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	3,923	3,917	0	0		0						
事業目標	目標名	メールマガジン登録者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	(予算額) うち一財	千円	3,787	3,797	0	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,855	3,876	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	3,900.0	4,000.0	4,200.0	4,200.0	4,200.0	(決算額) うち一財	千円	3,706	3,740	対28年度増減理由 学び・交流プラザ 管理運営事業費 に統合		対28年度増減理由 学び・交流プラザ 管理運営事業費 に統合	
	実績値	4,007.0	4,174.0	4,443.0			正職員人件費	千円	733	0				
	達成度(%)	102.7%	104.4%	105.8%			人工数	人	0.10	0.00	0.00			
							支出コスト	千円	決) 4,588	決見) 3,876				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	備品の貸出し (ソフト事業)	各種社会教育関係団体	生涯学習センターの備品の貸出し、公民館活動を支援	生涯学習センターの備品の貸出し、公民館活動を支援	視聴覚機器、生涯学習センター備品の管理・貸出業務	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.2	364	否	可				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 備品の貸出業務については、学び・交流プラザに移行することによって、市内中心部の社会教育関係団体への利便性が低下することが危惧される。					B	改善案	生涯学習課として備品の貸出業務を行う。					
②	ホームページの作成 (ソフト事業)	市民及びその他	生涯学習情報の提供、学習機会の提供	生涯学習情報の提供、学習機会の提供	「Manabi」ホームページの更新		0.4	692	可	可				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					A	改善案							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時						
③	生涯学習情報の提供	市民及びその他	大人向け・子供向けにホットな生涯学習情報を収集・発信	大人向け・子供向けにホットな生涯学習情報を収集・発信	生涯学習情報誌「ふあいんど」の毎月1回の発行、メールマガジン(生涯学習情報)の発信		0.4	764	可	可	
	(ソフト事業)										
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	A	改善案									
④	連合婦人会、女団連の事務	周南市連合婦人会、女性団体連絡協議会、更生保護女性会	社会教育団体の支援	社会教育団体の支援	周南市連合婦人会、女性団体連絡協議会、更生保護女性会の事務局		0.3	529	可	可	
	(ソフト事業)										
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	B	改善案	それぞれの団体が自立できるよう、支援を進めていく。								
⑤	印刷機の使用料管理	社会教育関係団体	社会教育団体への印刷機の貸出	社会教育団体への印刷機の貸出	複写機、印刷機の貸出・管理・手数料徴収		0.2	634	否	可	
	(ソフト事業)										
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	A	改善案									
⑥	生涯学習センター管理	生涯学習センター	生涯学習センターの環境整備	情報発信・学習相談体制の充実を図る	生涯学習センターの環境整備		0.5	893	否	可	
	(ソフト事業)										
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	A	改善案									

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	少子高齢化社会、経済状況の停滞が続き、地域づくりにおける公民館への期待感、コーディネーターとしての役割が重要度を増してきた。	前年度までの指摘事項	(仮称)学び・交流プラザ完成後は、中央公民館機能は生涯学習課と統合し、事務を進めること。	指摘事項に対する改善状況	平成27年度中に、中央公民館機能は、生涯学習課に移す方向で検討する。
	細事業の課題・問題点	地域づくりを担う公民館(ソフト面)の役割が重要度を増す一方で、公民館施設の老朽化が進み、公共施設全体を視野に入れた施設の再配置計画に基づいて、管理・運営していく必要がある。	事業全体の課題・問題点	施設面＝市民館別館(2階は小ホール)の1階交流スペースなどは、中央公民館機能を生涯学習課に移した後も、当面は市民団体が活動できるようサービスの確保に努める。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	各地区公民館での生涯学習活動・地域活動の継続には、生涯学習課のサポートが欠かせない。	改善案	生涯学習センター機能は学び・交流プラザへ移転するが、当面は生涯学習課として管理運営面をサポートしていく。
----	---	---	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	D	事業廃止と、学び交流プラザ管理運営事業費へ移管
----	---	-------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
学び・交流プラザ管理運営事業費に統合	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132029	事務事業名	地域の元気臨時交付金事業(公民館施設改修)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的・継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○老朽化した地区公民館などの社会教育施設は、計画的な整備・改修に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 地区公民館	意図(どういう状態にしたい): 地域活動の拠点である地区公民館の安心・安全と利便性の向上。 (公民館利用者数 H26目標:472千人)	事業の内容 (手段)	公民館施設の計画的な改修		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○トイレ洋式化工事(桜木・今宿・戸田・大島・中央地区・湯野・夜市・大河内・中須)計9公民館 ○空調設備改修設計業務委託 ○空調設備改修工事(大向・中須) ○外壁改修工事(高水)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円		52,168										
事業目標	目標名	公民館利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円		7,868			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		43,353		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	472,000.0	472,000.0	472,000.0	472,000.0	472,000.0	(決算額)	うち一財	千円		8,053	公民館の大規模改修が終了		
	実績値	471,932.0	438,619.0	476,545.0			正職員人件費	千円			1,479			
	達成度(%)	100.0%	92.9%	101.0%			人工数	人			0.20			
							支出コスト	千円		決) 0	決見) 44,832			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	公民館施設の改修	地区公民館	公民館施設の改修・機能の充実	公民館施設の安心・安全を確保し、使いやすい公民館に改修、機能を充実させる。	外壁改修(1館)、トイレ改修(9館)、空調改修(2館)工事の実施	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.2		43,353	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
								改善案						
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	各地区住民の学習活動や地域活動の拠点として、公民館は長い間に親しまれ利用されてきたが、多くの施設や設備は老朽化が進んでいる。また近年では、公民館利用者の自家用車での来館が多く、駐車場が手狭な状況である。	前年度までの指摘事項	施設の再配置方針を見据え、計画的な改修を実施すること。	指摘事項に対する改善状況	「出先機関再配置プロジェクトチーム」により、今後の施設のあり方を調査・研究する。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習活動や地域活動の拠点である公民館の改修や耐震診断により、機能を充実させ、安心・安全の確保に努めてきたが、建設後30年以上経過した施設が多く、改修が十分に実施されているとはいえない。また耐震診断の結果、多くの施設が耐震性がないことが判明したことに伴い、今後耐震補強工事を計画的に実施する必要がある。 公民館利用者の駐車場の確保が必要。特に中央地区公民館と今宿公民館は早急な対策を要する。 	事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の老朽化対策 生涯学習活動や地域活動の拠点である公民館の改修や耐震診断により、多くの施設が耐震性がないことが判明したため、耐震補強工事を計画的に実施する必要がある。 公民館利用者の駐車場の確保が必要。特に中央地区公民館と今宿公民館は早急な対策を要する。 		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	公民館は、これからも各地区における生涯学習活動・地域活動の拠点であるため、計画的に改修し、安心・安全の確保及び、利便性の向上に努めなければならない。	改善案	「出先機関再配置プロジェクトチーム」により、今後の施設のあり方について、調査・研究する。また駐車場の確保を検討するなど、利用しやすい施設整備に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	施設・設備の改修を、国の補正予算を活用して効果的に実施できた。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成26年度で事業終了

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132029	事務事業名	地域の元気臨時交付金事業(社会教育施設改修)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的・継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○老朽化した地区公民館などの社会教育施設は、計画的な整備・改修に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 地区公民館類似施設	意図(どういう状態にしたい): 地域活動の拠点である地区公民館及び公民館類似施設の安心・安全と利便性の向上。 (公民館利用者数 H26目標:472千人)	事業の内容 (手段)	公民館類似施設の計画的な改修		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○空調設備改修設計業務委託 ○空調設備改修工事(三丘徳修館・勝間ふれあいセンター) ○トイレ洋式化工事(三丘徳修館・勝間ふれあいセンター・鶴いこいの里野鶴監視所)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円		34,223										
事業目標	目標名	公民館利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円		5,223			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		29,429		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	472,000.0	472,000.0	472,000.0	472,000.0	472,000.0	(決算額)	うち一財	千円		5,529	公民館の大規模改修が終了		
	実績値	471,932.0	438,619.0	476,545.0					千円		1,479			
	達成度(%)	100.0%	92.9%	101.0%					人工数	人		0.20		
								支出コスト	千円		決) 0	決見) 30,908		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数	コスト		委託等の可否		
	①	公民館類似施設の改修	地区公民館類似施設	公民館類似施設の改修・機能の充実	公民館類似施設の安心・安全を確保し、使いやすい施設に改修、機能を充実させる。		トイレ改修(3施設)、空調改修工事(2施設)を実施できた。		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
									0.2		29,429	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						
								改善案						
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	各地区住民の学習活動や地域活動の拠点として、公民館は長い間に親しまれ利用されてきたが、多くの施設や設備は老朽化が進んでいる。また近年では、公民館利用者の自家用車での来館が多く、駐車場が手狭な状況である。	前年度までの指摘事項	施設の再配置方針を見据え、計画的な改修を実施すること。	指摘事項に対する改善状況	「出先機関再配置プロジェクトチーム」により、今後の施設のあり方を調査・研究する。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習活動や地域活動の拠点である公民館の改修や耐震診断により、機能を充実させ、安心・安全の確保に努めてきたが、建設後30年以上経過した施設が多く、改修が十分に実施されているとはいえない。また耐震診断の結果、多くの施設が耐震性がないことが判明したことに伴い、今後耐震補強工事を計画的に実施する必要がある。 公民館利用者の駐車場の確保が必要。特に中央地区公民館と今宿公民館は早急な対策を要する。 	事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の老朽化対策 生涯学習活動や地域活動の拠点である公民館の改修や耐震診断により、多くの施設が耐震性がないことが判明したため、耐震補強工事を計画的に実施する必要がある。 公民館利用者の駐車場の確保が必要。特に中央地区公民館と今宿公民館は早急な対策を要する。 		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進める B 実施方法やコスト等を見直しのうえ継続 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直し D 休止・廃止の検討	評価理由	公民館は、これからも各地区における生涯学習活動・地域活動の拠点であるため、計画的に改修し、安心・安全の確保及び、利便性の向上に努めなければならない。	改善案	「出先機関再配置プロジェクトチーム」により、今後の施設のあり方について、調査・研究する。また駐車場の確保を検討するなど、利用しやすい施設整備に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	施設・設備の改修を、国の補正予算を活用して効果的に実施できた。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成26年度で事業終了

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132044	事務事業名	三丘徳修館管理運営事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに活かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するための環境の充実に努めます。 学んだ成果を地域のまちづくりに活かすことのできるような場を積極的に提供していきます。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 地域住民	意図(どういう状態にしたい): 生涯学習の推進や、コミュニティ協議会等の各種団体が開催する行事を通じて、地域のコミュニティ活動の拠点施設として機能を充実させ、住民によるふるさとづくりを目指す。	事業の内容 (手段)		三丘徳修館を管理・運営、公民館講座を開催し、地区住民の地域活動、学習活動を支援。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	定期講座(三丘女性学級・ふくふく学級)年11回開催 延べ330人参加 三丘徳修館利用件数1,060件(25年1,121件) 利用者数 11,334人 (24年 12,158人)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	3,751	4,628	3,596	3,589		3,596						
事業目標	目標名	利用件数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	3,681	4,558	3,526	3,513	3,526
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,801	4,702		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100		(決算額)	うち一財	千円	3,725	4,626			
	実績値	1,005	1,121	1,060			正職員人件費	千円	7,325	7,395				
	達成度(%)	91.4%	101.9%	96.4%			人工数	人	1.00	1.00	1.00			
							支出コスト	千円	決) 3,801	決見) 12,097				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	コミュニティ協議会等の事務局運営 (ソフト事業)	三丘徳修館に事務局を置く団体	地域での自主運営を目指す	自主運営に向けた指導	事務指導の結果、各団体の会計(通帳管理)はH26年度より全て各団体で行うこととなった。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 各団体の後継者育成が課題					細事業評価							
	②	施設管理運営事業費(貸館業務) (施設管理運営事業)	三丘徳修館利用者(主に三丘地区住民)	三丘地区の生涯学習拠点としての利用促進を図る	利用件数、利用者数の増加	利用件数、利用者とも横ばいで推移 H26年度新規定期利用団体2団体	0.1	0.8	4,665	否	否			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 新たな定期利用団体の獲得					細事業評価							
						B	改善案	H26年度は定期利用団体に2団体新規団体が加わった。今年度も引き続き、利用件数の増加に向けて、働きかける						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	③	公民館講座運営事業 (ソフト事業)	三丘徳修館利用者(主に三丘地区住民)	三丘地区の生涯学習拠点として、利用促進を図る	講座参加者の増加	⇒25年 11回実施 延べ300人参加 →26年 11回実施 延べ330人参加	正職員	臨時等	37	否	否			
							0.4	0.1						
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 現状主として60代以上の参加者が9割以上であるので、50代以下の参加者の取り込みが課題						細事業評価								
						B	改善案	昨年30代の参加もあったので、今年度も講座内容を検討し、60代以下の世代の取り込みを進める						
④														
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
							改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	地域内の高齢化が急速に進み、三丘徳修館を利用している定期利用団体も減少傾向にある。	前年度までの指摘事項	コスト削減に努めると共に、地域の人材育成を積極的に行い、地域コミュニティの拠点施設として、将来的な自立に向けての取り組みを進めること。	指摘事項に対する改善状況	各団体の会計事務が、事務局より独立した(H26年度より)
	細事業の課題・問題点	事業全体の課題・問題点と同じ		事業全体の課題・問題点	周南市内の施設の中では、平成3年に完成した比較的新しい施設であるものの、開館後24年を経過し老朽化が進んでいる部分もある。平成26年度は空調設備の全面改修工事、敷地内の舗装一部張替工事を行った。定期利用団体の数・構成員共減少傾向であるものの、良く利用されており、利用者数は横ばいで推移している。今後も安定した利用者数を確保する施策を実施し、地域の拠点施設としての存在感、利用価値を高めていく必要がある。各団体については、引き続き自主運営に向けた協議等を行っていく。(H26年から過去からの懸案であった会計事務を全て団体に引き継いだ。)	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	利用件数の向上に向けて、更なる施策等が必要である。団体の運営については引き続き自主運営に向けた協議等が必要。	改善案	新たな利用者獲得に向け、新規の講座等を開設し、活性化を図る。団体の運営に関しては、人材育成支援を含め、引き続き協議を行って行く。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	生涯学習・地域活動の拠点施設として、利用価値が高まるような管理運営に努められたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200103
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(3)社会教育関連施設の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
27年度までに施設の主要な修繕等を計画的に行い、平成28年度予算においては修繕費用を抑えることが出来た。女性学級・ふくふく学級は月1回行っているが、熊毛地区の他の公民館等と連携して、講師を共同で呼んだり、謝金等がなるべく発生しない行事等を行うなど工夫している。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部・生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132047	事務事業名	鶴いこいの里管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【「生涯学習の推進」に対する満足度】	32.30%
	推進施策の展開	老朽化した地区公民館などの社会教育施設は、計画的な整備・改修に努めます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): 鶴いこいの里交流センターを管理・運営し、地区住民の地域活動、スポーツ活動を支援。	事業の内容 (手段)	鶴いこいの里交流センターの管理・運営 公民館講座・スポーツ大会・イベントの開催 社会教育団体の育成	【「生涯学習の推進」に対する満足度】	41.00%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	地元団体が開催するスポーツ大会(ペタンク・ソフトバレー・ソフトボール)及びイベント活動(地区運動会・収穫祭)等の支援。								直接事業費	千円	11,662	10,881	12,457	10,830
事業目標	目標名	鶴いこいの里利用者数	計算式	年間利用者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	10,472	9,715	11,445	9,973	9,800
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	11,102	11,025		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	30,000.0	30,000.0	30,000.0	45,000.0	45,000.0	(決算額)	うち一財	千円	10,309	10,170	27年度にトイレ洋式化工事を計上しているため		
	実績値	27,315.0	30,219.0	42,348.0			正職員人件費	千円	10,182	9,909				
	達成度(%)	91.1%	100.7%	141.2%			人工数	人	1.39	1.34	1.34			
							支出コスト	千円	決) 21,284	決見) 20,934				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 鶴いこいの里施設維持管理 (施設等管理運営事業)		鶴いこいの里施設利用者	生涯学習施設の維持・管理	快適に利用できるよう定期的な見回り、小修理を行う。	施設の維持、軽微な修繕、管理委託契約、貸館業務	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	可	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化が進んでおり、今後の維持管理費が問題である。			B	改善案	分館である須野河内交流館については地元の自治会館としても利用されており、地元への譲渡も含め今後の運営を検討していく必要がある。						
	② 公民館講座・スポーツ大会・イベントの開催 (ソフト事業)		鶴いこいの里交流センターに事務局を置く団体	各団体の行事運営、会議の資料作成及び進行	各団体が独立して運営できるよう支援する。	団体運営に係る事務指導等を行った	0.4		3,291	否	可			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 各団体が主催する公民館講座・スポーツ大会・イベントの開催について、自主運営できるよう促す必要がある。			B	改善案	各団体の自主運営を促すとともに、公民館講座・スポーツ大会・イベントを開催・支援し、施設利用者数の増加を図る。							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	社会教育団体等の支援 (ソフト事業)	鶴いこいの里交流センターに事務局を置く団体	各団体の行事運営、会議の資料作成及び進行	各団体が独立して運営できるよう支援する。	団体運営に係る事務指導等を行った	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	否	可
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 各団体の事務局を多く引き受けており、自主運営できるよう促す必要がある。						細事業評価 各団体と協議を重ねながら、自主運営できるよう支援していく。						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	地域内の少子高齢化が進み、施設の定期利用団体等の会員数が減少したことから、施設の利用者数が減少傾向にある。		須野河内交流館については集会所的な使われ方であり、将来的には地元譲渡へ向け対応されたい。プールについては、当面存続とするが、今後大規模改修が必要となった場合には廃止を検討し、学校利用は他校への輸送で対応できないか協議されたい。
	それぞれ短期間での改善は難しいため、協議・検討を重ね長期的に取り組んでいく必要がある。		今後も利用者の増加を図る施策を実施し、生涯学習の拠点施設としての存在意義、利用価値を高めていく必要がある。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	鶴の保護、鶴に関する研究、交流及び情報交換の支援やコミュニティ活動、スポーツ活動等の生涯学習の拠点施設であり、今後も地域づくりのコーディネーターとしての事業を進める。
			改善案	より多くの方に利用してもらえるよう、地域の情報をインターネットなどでPRを行い、利用者の増加を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 生涯学習・地域活動の拠点施設として、利用価値が高まるような管理運営に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200103
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(3)社会教育関連施設の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
上水使用量の節減による水道・下水道使用料を見直した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 新南陽ふれあいセンター	評価者(課長)	山本 英樹	評価責任者(部長)	松村 悟
事務事業コード	132050	事務事業名	新南陽ふれあいセンター管理運営事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○市民の自主的、継続的な学習活動を支援するための環境の充実に努めます。 ○多様なニーズや、少子高齢化や環境問題をはじめとした現代的課題に対応した講座の開催など学習機会の提供に努めます。 ○学んだ成果を地域のまちづくり活動に生かすことができるような場を積極的に提供していきます。			25年度市民評価の満足度	【生涯学習の推進】 41.00%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 地域住民および新南陽ふれあいセンター利用者	意図(どういう状態にしたい): 研修・レクリエーション・コミュニティ活動・文化スポーツ・趣味の活動の場を提供することにより、市民の交流が活発となり、生涯学習の推進と地域の活性化を目標とします。 (H27目標 図書館、トレーニングセンター、プール以外の利用者数:83,000人)	事業の内容(手段)	○新南陽ふれあいセンターの施設管理・運営 ○多目的ホールを含む貸館・福川公民館・福川図書館・トレーニングセンター等の複合施設として運営		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	研修・レクリエーション・コミュニティ活動・文化スポーツ・趣味の活動の場を提供することにより、市民の交流が活発となり、生涯学習の推進と地域の活性化に貢献できた。 (利用者人数には物産展来館者40,200人を含む)					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	直接事業費	千円	44,165	47,418	48,654		44,297	48,000								
事業目標	目標名	図書館、トレセン、プールを除いた利用者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額)	うち一財	千円	38,543	41,618	43,438	39,081	42,784	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	43,274	47,893	対27年度増減理由		対28年度増減理由			
	目標値	82,000	88,000	132,000.0	83,000.0	83,000.0	(決算額)	うち一財	千円	38,001	41,853	管理運営業務において、委託を取りやめ、嘱託職員増員による市直営方式に変更した。				
	実績値	86,961	131,310	139,000.0			正職員人件費	千円	10,988	17,748	2.40					
	達成度(%)	106.1%	149.2%	105.3%			人工数	人	1.50	2.40	2.40					
							支出コスト	千円	決) 54,262	決見) 65,641						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否				
	①	新南陽ふれあいセンター管理運営事業 (施設等管理運営事業)	新南陽ふれあいセンターの管理運営	新南陽ふれあいセンターの管理と運営	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、地域コミュニティの活動を支援する。	研修・レクリエーション・コミュニティ活動・文化スポーツ等の場を提供することにより、生涯学習の推進と地域の活性化が見込まれる。	正職員	2.4	臨時等	8	直接事業費	47,893	委託	可	臨時嘱託	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 新南陽ふれあいセンターの利用者は物産展が開催されたことにもない13万9千人となっている。しかしながら物産展を除いた人数でも98,779人、前年と比較増加しており、市民への貢献度は高いと判断される。ただし、開館後25年を経過しており、今後の設備機器等の維持や更新にかかる費用の確保が懸念される。					B	改善案	類似施設との役割分担を明確にし、設備・備品等の計画的な更新を実施							
	②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成2年11月の開館以来、地域コミュニティづくり、生涯学習の拠点としての機能を生かし、住民生活の向上を目指すとともに健康づくり、またふれあいの場としてとして有効利用されるとともに、周南市の拠点施設の役割も担っている。	前年度までの指摘事項	外部委託が可能な施設であることから、検討を行い、一定の方向を示すこと。	指摘事項に対する改善状況	平成27年度から、夜間の管理運営業務全部および日中の一部について業務委託している。
	細事業の課題・問題点	新南陽ふれあいセンターは福川公民館や福川図書館等、福川地域の活動拠点であるとともに、周南市の生涯学習およびふれあいの場として、施設利用にとって利便性の高い複合施設であり、年間13万人程度の利用者がある。しかし建設後25年を経過した大規模施設であり、設備とともに備品の改修費用が懸念される。このため、類似施設である学び交流プラザとの役割分担を明確にしたうえで改修計画が必要になる。さらに、管理運営形態や受益者負担の見直しなどの検討が必要となる。	事業全体の課題・問題点		同左	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	福川公民館や福川図書館を含む複合施設であり、住民ニーズに沿った公民館や図書館の運営が求められる。	改善案	複合施設あることを考慮し、段階的かつスムーズに指定管理に移行する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 生涯学習・地域活動の拠点であるのみならず、全市的なコミュニティ活動拠点の性格を有する複合施設であることから、施設の利用価値が高まるような管理運営に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200102
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(2)学んだ成果をまちづくりに生かす環境の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成28年度は、地区コミュニティ活動支援及び当館の管理運営業務を委託を取りやめ、嘱託職員の増員による管理運営業務の実施に変更した。また、備品の経年劣化による破損が著しい長机を取り換える。今後も、安全な施設利用を行うため、段階的に施設備品等の更新を行う。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	生涯学習課	評価者 (課長)	山本英樹	評価責任者 (部長)	松村悟
事務事業コード	132053	事務事業名	勝間ふれあいセンター管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的・継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するための環境充実に努めます。 多様なニーズ、少子高齢化、環境問題をはじめとした現代課題に対応した講座の開催など学習機会の提供に努めます。 学んだ成果を地域のまちづくり活動に生かすことができるような場を積極的に提供していきます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 地域住民	意図(どういう状態にしたい): 生涯学習の推進や、コミュニティ協議会等の各種団体が開催する行事を通じて、地域のコミュニティ活動の拠点施設として機能を充実させ、住民によるふるさとづくりを目指す。	事業の内容 (手段)	勝間ふれあいセンター学級・・・公民館主導の講座開催 放課後子ども教室(おもしろ科学クラブ)・・・勝間校区を主とした小学生対象の科学講座 かつまふれあい祭り・・・勝間地区コミュニティ、小学校、地域住民と連携したお祭り 学校と地域の連携による児童教育の促進 大どんど焼き・・・勝間地区コミュニティ、小学校、地域住民と連携したお祭り その他団体等への支援	【生涯学習の推進】 41.00%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	勝間ふれあいセンター学級 年10回開催 計197人参加 放課後子ども教室(おもしろ科学クラブ) 年10回開催 計239人 かつまふれあい祭り 約2000人 大どんど焼き 約200人 三世代交流フォークダンスの集い 約50人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	4,638	5,419	4,746	4,727		4,746							
事業目標	目標名	施設利用者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	4,396	5,182	4,659	4,480	4,659	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,606	5,314	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	20,000	20,000	20,000	25,000	25,000	(決算額)	うち一財	千円	4,519	5,231				
	実績値	18,289	19,549	30,206			正職員人件費	千円	7,489	7,395					
	達成度(%)	91.4%	97.7%	151.0%			人工数	人	1.00	1.00	1.00				
							支出コスト	千円	決) 12,095	決見) 12,709					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	① 勝間ふれあいセンター管理運営事業 (施設等整備事業)		館利用者及び地域住民	生涯学習施設の維持・管理・生涯学習の促進	適正な館運営と維持管理を行う。生涯学習の促進	冷暖房設備の更新 畳・ブラインドの老朽化に対応	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 運営面: 地域の高齢化に伴う自主講座の休止等で利用件数は減少傾向である。 施設面: 老朽化により、毎年のように修繕箇所が発生しているのが現状。			B	改善案	施設の老朽化対応と施設の利便性の確保							
	② 公民館講座運営事務 (ソフト事業)		周南市民及び地域住民	地域住民に対して生涯学習の場の提供	生涯学習を通じてコーディネーターの育成や地域の人とひととの関わりを持ってもらう。	年10回講座を開催し、地域住民の教育、学術、文化に関する学習の場を提供。また、各種団体との連携により担い手の育成を行った。	0.3	0.2	0	可	可				
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 地域住民に対して生涯学習の場を設けている。			B	改善案	地域住民のニーズを考慮しさらに多くの人の参加を促すような講座の開催 参加者の増加促進と指導者の育成を継続する。								

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	コミュニティ協議会等の事務局等事務 (ソフト事業)					地域住民	各団体の行事運営、会議の資料作成および進行	各団体が独立して運営できるよう支援する	コミュニティ等主催の行事活動の支援	正職員	臨時等
							0.2	0.3	0	可	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 各団体の事務局を多く引き受けており、自主的に運営できるよう促す必要がある。各協議会の担い手(後継者)の育成が必要である。				B	改善案	コミュニティ以外の団体についてはほぼ自立しているが、コミュニティについては一つ一つ事業を確認しながら自主的に運営できるよう支援していく。				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	地域内の高齢化が急速に進んでいるが、館の利用は地域からの利用者也増加している。他の地域との交流や他市住民との交流の場へと変化していることから状況にあった利用を考えるべきである。	前年度までの指摘事項	なし	指摘事項に対する改善状況	なし
	細事業の課題・問題点	施設においては電灯安定器の老朽により今後修繕費の増加が考えられる。コーディネーターの育成については、講座等を開催することにより各地域住民の協力が必須である。コミュニティ団体の担い手の育成と自立化は今後も支援が必要である。	事業全体の課題・問題点	定期利用団体の数が減少しているが、依存の団体への参加者が増加傾向にある。地域全体が高齢化傾向にあるが地域の拠点としての役割・存在意義を再確認し、さらなる利用者の促進と学びの場としての役割を高めていく必要がある。各種団体の担い手の育成が必要であり事業の進め方や運営のマニュアル作りや自由性を促し、活動しやすい環境づくりが必要と考える。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	周南市民、地域住民や各種団体への情報交換の支援やコミュニティ活動、スポーツ活動等の生涯学習の拠点施設でもあり、計画どおり事業を進めた。施設面では冷暖房の全面改修など老朽化した設備の更新が行われた。	改善案	地域の拠点としての役割を図り、地域の人のニーズに合うように運営を図る。各団体の独立支援を継続する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 生涯学習・地域活動の拠点施設として、利用価値が高まるような管理運営に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200103
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(3)社会教育関連施設の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
利用者団体への連絡を冊子を作成することで通信運搬費の削減を行った。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132056	事務事業名	高水ふれあいセンター管理運営事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主性・継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)社会教育関連施設の整備・充実			【「生涯学習の推進」に対する満足度】	32.30%
	推進施策の展開	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するための環境の充実に努めます。学んだ成果を地域のまちづくりに活かすことのできるような場を積極的に提供していきます。			25年度市民評価の満足度	【「生涯学習の推進」に対する満足度】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 高水ふれあいセンターを管理・運営し、地区住民の地域活動、学習活動を支援。	事業の内容 (手段)	高水ふれあいセンターの管理・運営 高水ふれあいセンター施設の維持・管理 通学合宿(高水小児童)の実施 高水公民館まつり 高水ふれあいフェスタ		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	高水公民館まつり、高水ふれあいフェスタ、通学合宿 高水公民館自主学习グループ講座の実施						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】								直接事業費	千円	5,250	5,364	5,381	5,383
							(予算額) うち一財	千円	4,739	4,825	4,825	4,801	4,881	
事業目標	目標名	施設利用件数	計算式	年間利用件数	単位	件	直接事業費	千円	5,275	5,654		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	4,679	5,027				
	目標値	500.0	500.0	500.0	500.0	500.0	正職員人件費	千円	2,564	2,588				
	実績値	271.0	275.0	251.0			人工数	人	0.35	0.35	0.35			
	達成度(%)	54.2%	55.0%	50.0%			支出コスト	千円	決) 7,839	決見) 8,242				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	施設維持管理業務 (施設管理運営事業)	周南市民	館の運営に支障をきたすことのないよう適正な施設維持管理に努める。	同左	館内清掃、施設維持管理にかかる業務委託、修繕業務。正常な管理運営ができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.1	0.35	2,455	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設が比較的新しい(ふれあいセンター本館:H11竣工、入浴館:H14竣工)ため現在のところ大きな改修の必要は生じていないが、屋内外の設備で耐用年数を経過しているものが有るので、今後大きな改修が必要となるおそれ有り。					B	改善案	改修の必要が生じた場合、国等の補助金を活用し、財政負担の軽減を図る。					
②	貸館業務 (経常的事務事業)	周南市民	迅速かつ正確な貸館業務を運営すべく、定期的な利用者会議等の開催を通じて意見収集に努める。	同左	施設の貸館に関する業務、利用者会議の実施。正常な館運営ができた。	0.1	0.35	0	可	可				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市民の生涯学習・地域活動の拠点施設として十分機能しているが、併設されている高水公民館と比較すると、利用件数が少ないので、住民ニーズの分析や生涯学習機能のさらなる充実が必要である。					B	改善案	「生涯学習推進プラン」を基に、事業を推進し利用者の増加を図る。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	入浴館の管理運営 (施設管理運営事業)	周南市民	施設管理において事故やレジオネラ菌の発生を防ぐ等、適正な施設運営に努める。	同左	施設の維持管理、管理運営業務委託に関する業務、修繕業務。正常な館運営ができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
							0.15	0.1	3,199	可	可		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 入浴館の運営については、利用状況は低く高コストとなっている。入浴施設の必要性について、検討を行う。						細事業評価						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 入浴館の運営については、利用状況は低く高コストとなっている。入浴施設の必要性について、検討を行う。						D	改善案	他課事業の推進に伴って公民館敷地に設置され、管理を教育委員会に委任された施設であり、関係部局と調整を図り、開館時間の縮小や休廃止等の検討を行う。				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 入浴館の運営については、利用状況は低く高コストとなっている。入浴施設の必要性について、検討を行う。							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	開館以来、地域に密着した身近な施設として、住民に親しまれている。地域の高齢化に伴い、利用者も高齢化してきており、利用者の減少が予測される。		入浴館について、地元協議を進めていく必要がある。
	入浴館の管理運営のあり方について検討を行う。		入浴館について、地元協議を進めていく必要がある。
		事業全体の課題・問題点	入浴施設の必要性について、検討を行う。住民ニーズの分析や係る費用との関係など、さらなる研究が必要である。入浴館の管理運営についても研究の必要がある。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	入浴館については最終的には、休廃止が望ましいが、開館時間の縮小等段階的に規模縮小を行うのが適切と思われる。	改善案	入浴施設の営業時間の見直しを行うとともに、休廃止に向け、地元協議を進めていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	C
	入浴館について地元協議を進めていく必要があるが、当面は、高水公民館と一体的な施設として、生涯学習・地域活動の拠点施設として、利用価値が高まるような管理運営に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200101
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(1)生涯学習推進体制の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
高水ふれあいセンターの効率的な運用に努める事により、消耗品費の予算削減を図った。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部生涯学習課	評価者 (課長)	山本 英樹	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	132061	事務事業名	学び・交流プラザ整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	○
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 社会教育関連施設の整備・充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	今後、ますます高度化、多様化する市民ニーズに対応するため、周南市の生涯学習を推進する拠点施設「周南市学び・交流プラザ」を整備する。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 全市民	意図(どういう状態にしたい): 施設の完成・供用開始により、地域コミュニティの推進や市民活動の促進など、本市のまちづくりの気運が高まり、人とまちの活性化に寄与することが大きく期待される。		事業の内容 (手段)	今後、ますます高度化、多様化する市民ニーズに対応するため、周南市の生涯学習を推進する拠点施設「周南市学び・交流プラザ」を平成26年度完成を目指し整備する。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	本体の建設工事が完了した。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	393,836	2,988,757	78,153	0
事業目標	目標名	主要事業費における決算累計額の割合		計算式	決算累計額/主要事業費の計		単位	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度							
	目標値	3,952,399.0	3,952,399.0	3,952,399.0	3,952,399.0								
	実績値	514,053.0	892,918.0	3,874,246.0									
	達成度(%)	13.0%	22.6%	98.0%									
							事業費	(予算額) うち一財	千円	24,936	140,457	4,053	0
						事業費	直接事業費	千円	378,864	2,993,545		対27年度増減理由	対28年度増減理由
						事業費	(決算額) うち一財	千円	11,465	231,387		整備事業終了のため	
						事業費	正職員人件費	千円	4,761	5,029			
						事業費	人工数	人	0.65	0.68	0.45		
						事業費	支出コスト	千円	決) 383,625	決見) 2,998,574			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	①	本体工事関係 (施設等整備事業)	本体工事の契約、工程会議の参加、施工上の詳細設計確認	本体建設工事の進捗管理	本体建設工事の進捗管理	本体工事が完了	0.15		660,341	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 次年度は騒音等を伴う新南陽図書館解体工事を近隣住民に理解を求めながら着実に進めること					A	改善案					
	②	管理運営体制検討 (施設等管理運営事業)	周南市学び・交流プラザの管理運営体制の検討	周南市学び・交流プラザの供用開始に係る管理運営体制の検討	供用開始に向けて管理運営体制を決定する。		0.28		1,232,636	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 月末1日及び年末年始が休館日であり、貸館業務、ソフト事業の推進や施設管理を限られた職員で行われなければならない。					B	改善案	管理事務に必要な職員数を確保する。					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	国庫交付金事務 (経常的事務事業)	国・県	国庫補助金の交付申請や進捗管理全般	国庫補助金が計画どおりに交付されること、次年度の要望を的確に行うこと、計画全体の管理ができること	・H26年度の国費請求 ・H27年度の国費要望 ・中国ブロック都市再生整備計画事業研究会出席	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
							0.25		1,100,568	否	否		
細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 4年間という事業期間内において、国・県と共に、市内部の関係所管課間の連絡調整が密に必要である。					細事業評価							
④													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	将来的に維持管理コストが少なくなるように施設整備を進めるとともに、管理方法については、指定管理制度の導入も含めて平成24年度中に検討されたい。	指摘事項に対する改善状況	体育施設の指定管理受託の実績があるため、施設管理部分を(公)体育協会に委託する。
細事業の課題・問題点	資材や労務単価の上昇等、当初の事業費より増高する傾向がある。				
	当事業は社会資本整備総合計画に位置付けられており、平成27年度が最終年度であり、国費の調整や事業の効果分析など計画完了にむけての事務をすすめていかなければならない。	事業全体の課題・問題点	・27年度事業である、旧新南陽図書館解体工事・駐車場整備工事を着実にすすめ、交付金の管理や社会資本整備総合交付金が整備計画に上り効果が出ているかを評価分析する作業を行う。 ・本体完成後の、施設管理において、管理運営体制を再度検討する必要がある。		

所管課評価					
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	新市建設計画の「21のリーディングプロジェクト」に位置付けられており、市民の関心が高い事業であり、27年度が最終年度であるため着実に事業を推進していく。	改善案

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 最終年度の周辺整備まで着実に進められた。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200103
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(3)社会教育関連施設の整備・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年4月より供用開始、今後は円滑な管理運営に努める。

備考